

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT
IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Mitsuhiko SATO et al.

Serial No.: 10/669,899

Filed: September 24, 2003



Group Art Unit:

Examiner:

For: IMAGE FORMING APPARATUS

Certificate of Mailing

I hereby certify that this paper is being deposited with the United States Postal Service as first class mail in an envelope addressed to: Commissioner for Patents, P.O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450 on:

Date: 12-23-03

By: MAR C

Marc A. Rossi

CLAIM FOR PRIORITY

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following country is hereby requested for the above-identified application and the priority provided in 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed:

JAPAN 2002 - 277081 September 24, 2002

In support of this claim, a certified copy of said original foreign application is filed herewith. It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 U.S.C. 119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,

MAR C

Marc A. Rossi

Registration No. 31,923

12-23-03
Date

Attorney Docket: CANO:087

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 9 月 2 4 日
Date of Application:

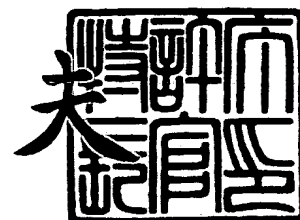
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 2 7 7 0 8 1
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 2 - 2 7 7 0 8 1]

出 願 人 キヤノン株式会社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 0 月 1 4 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 4526159

【提出日】 平成14年 9月24日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G03G 15/00

【発明の名称】 画像形成装置および画像形成装置のタブ紙モード処理方法およびコンピュータが読み取り可能な記憶媒体およびプログラム

【請求項の数】 20

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 佐藤 光彦

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 藤森 貴司

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 砂田 秀則

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 山本 悟

【特許出願人】

 【識別番号】 000001007

 【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

 【代表者】 御手洗 富士夫

【代理人】

【識別番号】 100071711

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 将高

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006507

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9703712

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像形成装置および画像形成装置のタブ紙モード処理方法およびコンピュータが読み取り可能な記憶媒体およびプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、

前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段と、

前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と、

前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段と、

前記第 1、第 2 の給紙手段から給送可能なタブ紙のページ順序を指定するページ順序指定手段と、

前記第 1、第 2 の給紙手段に対して前記ページ順序指定手段により指定されるページ順序を割り付けた用紙管理情報を記憶する第 1 の記憶手段と、

タブ紙給紙を選択指示するタブ紙給紙指示手段と、

前記タブ紙給紙指示手段によりタブ紙給紙が選択指示された場合に、ユーザによる前記第 1 または第 2 の排紙手段の排紙先選択状態及び各給紙手段に指定されたページ順序に応じて、有効な画像転写結果が得られるようにタブ紙を給紙可能な前記第 1 または第 2 の給紙手段を自動選択制御する制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】 所定のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を上から給紙し反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、

前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を上から給紙し反転することなく給紙した面

に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段と、

前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段と、

前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段と、

前記第1または第2の給紙手段から給紙可能な用紙の種別がシート材であるかタブ紙であるかの指定と、該タブ紙であると指定した場合には、該タブ紙のページ順序を指定するページ順序指定手段と、

前記第1、第2の給紙手段に対して前記ページ順序指定手段により指定されるシート材の種別及びページ順序を割り付けた用紙管理情報を記憶する第1の記憶手段と、

タブ紙給紙を選択指示するタブ紙給紙指示手段と、

前記タブ紙給紙指示手段によりタブ紙給紙が選択指示された場合に、ユーザによる前記第1または第2の排紙手段の排紙先選択状態及び各給紙手段に指定されたページ順序に応じて、有効な画像転写結果が得られるようにタブ紙を給紙可能な前記第1または第2の給紙手段を自動選択制御する制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項3】 タブ紙への有効な画像転写結果が得られる第1、第2の給紙手段とタブ紙のページ順序と第1、第2の排紙手段の組み合わせ情報を記憶する第2の記憶手段を備え、

前記制御手段は、前記タブ紙給紙指示手段によりタブ紙給紙が選択指示された場合に、ユーザによる前記第1または第2の排紙手段の排紙先選択状態及び各給紙手段に指定されたページ順序に応じて、前記第2の記憶手段に記憶される組み合わせ情報に適應するようにタブ紙を給紙可能な前記第1または第2の給紙手段を自動選択制御することを特徴とする請求項1または2記載の画像形成装置。

【請求項4】 前記第1の給紙手段は、シート材またはタブ紙を積載収容する画像形成装置本体内に収納される給紙カセットを含むことを特徴とする請求項1または2記載の画像形成装置。

【請求項5】 前記第2の給紙手段は、シート材またはタブ紙を積載収容す

るデッキ、または手差しトレイを含むことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像形成装置。

【請求項 6】 前記制御手段は、前記第 1、第 2 の給紙手段のいずれも有効な画像転写結果が得られるようにタブ紙を給紙不可能な場合に、排紙先選択エラーを含む警告を操作パネルに表示することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像形成装置。

【請求項 7】 前記タブ紙は、タブ順序が正順のノーマルタブ紙又はタブ順序が逆順のリバースタブ紙であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像形成装置。

【請求項 8】 所定のタブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段とを備え、前記所定のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置のタブ紙モード処理方法であって、

前記第 1、第 2 の給紙手段から給送可能なタブ紙のページ順序を指定するページ順序指定ステップと、

前記第 1、第 2 の給紙手段に対して前記ページ順序指定ステップにより指定されるページ順序を割り付けた用紙管理情報を記憶する記憶ステップと、

タブ紙給紙を選択指示するタブ紙給紙指示ステップと、

前記タブ紙給紙指示ステップによりタブ紙給紙が選択指示された場合に、ユーザによる前記第 1 または第 2 の排紙手段の排紙先選択状態及び各給紙手段に指定されたページ順序に応じて、有効な画像転写結果が得られようタブ紙を給紙可能な前記第 1 または第 2 の給紙手段を自動選択制御する制御ステップと、
を有することを特徴とする画像形成装置のタブ紙モード処理方法。

【請求項 9】 請求項 8 に記載の画像形成装置のタブ紙モード処理方法を実行させるためのプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 1 0】 請求項 8 に記載の画像形成装置のタブ紙モード処理方法を実行させるためのプログラム。

【請求項 1 1】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と

、
前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段と

、
前記第 1 の排紙手段が選択されたことに応じて、正順のタブ紙束がセットされた前記第 1 の給紙手段又は逆順のタブ紙束がセットされた前記第 2 の給紙手段を選択する制御手段と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 1 2】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と

、
前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段と

、
前記第 2 の排紙手段が選択されたことに応じて、逆順のタブ紙束がセットされた前記第 1 の給紙手段又は正順のタブ紙束がセットされた前記第 2 の給紙手段を選択する制御手段と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 13】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と

、
前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段と

、
正順のタブ紙束がセットされた前記第 1 の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第 1 の排紙手段を選択する制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 14】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と

、
前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段と

、
逆順のタブ紙束がセットされた前記第 1 の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第 2 の排紙手段を選択する制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 15】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と

、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段と

、

正順のタブ紙束がセットされた前記第 2 の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第 2 の排紙手段を選択する制御手段と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 16】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と

、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段と

、

逆順のタブ紙束がセットされた前記第 2 の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第 1 の排紙手段を選択する制御手段と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 17】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段と

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段と

正順のタブ紙束がセットされた前記給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第1の排紙手段へ排紙させる制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項18】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段と

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段と

逆順のタブ紙束がセットされた前記給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第2の排紙手段へ排紙させる制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項19】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段と

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段と

正順のタブ紙束がセットされた前記給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第2の排紙手段へ排紙させる制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項20】 正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像

形成装置であって、

前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段と、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段と

、

前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段と

、

逆順のタブ紙束がセットされた前記給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第1の排紙手段へ排紙させる制御手段と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、記録用紙束にタブ紙を挿入して出力するタブインサート機能を具備する画像形成装置および画像形成装置のタブ紙モード処理方法およびコンピュータが読み取り可能な記憶媒体およびプログラムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、複写機、プリンタ等の画像形成装置は、複数の給紙トレイを持ち、異なるサイズのシート材に画像を形成して出力することが可能である。そして、上記複数の給紙トレイには、画像形成装置本体の内部にあり、給紙トレイを手前に引き出してシート材をセットする、フロントローディング形式のトレイや、本体外部にあり、大量のシート材を格納できるデッキ、不定形サイズのシート材を載置可能なマルチトレイなどがある。

【0003】

また、フロントローディング形式のトレイは、トレイから画像転写位置までの搬送パスがU字形をしている関係上、フロントローディング形式のトレイから給紙されるシート材は、載置したシート材の下面に画像が転写され、デッキやマルチトレイから給紙されるシート材は、直線的に画像転写位置まで搬送されるため

、載置したシートの上面に画像が転写される。すなわち、フロントローディング形式のトレイから給紙搬送されるシートは、画像転写面が反転して転写位置へ搬送されている。

【0004】

また、これらの給紙トレイには、普通紙のほか、厚紙、OHPシート、光沢紙、封筒など、様々な種類のマテリアルを載置することが可能である。これらのマテリアルの一種類として、タブ紙がある。タブ紙は仕切りのためのタブを持っており、タブの位置は上から下へ順次ずれており、複数枚のタブ紙が一つのタブ紙束を構成している。たとえば、3枚のシートに1つずつタブがついた、3タブ紙、5枚のシートに1つずつタブがついた、5タブ紙などがある。これらのタブ紙は3枚もしくは5枚で1セットである。タブ紙は一般的に上についているタブから順に1ページ、2ページ、3ページ、……となっている。

【0005】

一方、シート材を出力する排紙トレイも複数あり、特に、複写機機能、プリンタ機能、ファクシミリ機能等の複数の機能を一台にまとめた複合機においては、それぞれの機能によって出力されたシート材を分類するために、複数の排紙トレイは必須の条件となっている。

【0006】

この排紙トレイは、最後に画像が転写された面が上になって排出されるフェイスアップトレイと、最後に画像が転写された面が下になって排出されるフェイスダウントレイに大別される。

【0007】

従来の複写機によく見られる、シートが機外へ搬送方向に直線的に排紙されるトレイがフェイスアップトレイであり、従来のプリンタによく見られる、装置上部に配置されているトレイがフェイスダウントレイである。

【0008】

フェイスアップトレイとフェイスダウントレイにシート束を排出する場合、トレイに積載されているシート材の上に新たなシート材が積載される関係上、出力のページ順序が異なる。フェイスアップトレイは最終ページから出力され、フェ

イスダウントレイには先頭ページから出力される場合が通例である。

【0009】

そのため、シート材の出力先に応じて、出力のページ順序を切り替える制御が行われている。また、フェイスアップトレイに対して、装置内部で画像が転写されたシートを反転させて排紙することで、フェイスアップトレイをフェイスダウントレイとして使用することが可能な装置もある。

【0010】

さらに、タブ紙は、フェイスアップトレイに排出する場合でも、タブ紙束の先頭ページから排出されるため、タブの順序がひっくり返ってしまうことがあり、最初からページ順序が逆のタブ紙も市販されている。タブ紙束が、ページ順になっているものは、ノーマルタブと呼ばれている。ページ順が逆になっているタブ紙束は、リバースタブと呼ばれている。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】

従来の画像形成装置は上記のように構成されているため、タブ紙にプリントする場合、前述のように、フェイスアップトレイに排出する場合は、リバースタブを、フェイスダウントレイに排出する場合はノーマルタブを使用すれば良かった。

【0012】

これは、タブ紙が、デッキや、マルチトレイのように、転写位置への搬送の際に、シートが反転しないトレイからのみ搬送が可能であった場合には何の問題もなかったが、シート材の搬送技術の向上により、技術的にはどのような材料でも搬送可能となり、シートが反転し、タブ紙のページ順序がひっくり返ってしまう、フロントローディング形式のトレイからでもタブ紙が搬送可能になったため、ユーザは、タブ紙にプリントしたい場合、給紙トレイから転写位置までの搬送経路で、シートが反転するか、転写位置から排紙トレイまでの搬送経路で、シートが反転するか等を考慮しつつ、タブ紙束をトレイにセットしなければならなくなったため、ユーザの操作負担が重くなり、希望するタブ紙出力を得るためには、ミスプリントの山を築いてしまう等の操作上の問題点があった。

【 0 0 1 3 】

これらの問題を懇切丁寧な解説書（マニュアル）を作成して適応してもらうのが最良ともいえるが、操作毎にマニュアルを参照して使用するユーザは少ないことに鑑みると、敢えてフロントローディング形式のトレイからのタブ紙搬送を禁止する等の策しか施せないという実状があった。

【 0 0 1 4 】

本発明は、上記の問題点を解決するためになされたもので、本発明の目的は、第 1 及び第 2 の給紙手段から給紙可能なタブ紙に対して指定されるページ出力順序を用紙管理情報として割り付け、該割り付けられた用紙管理情報を記憶した状態で、タブ紙給紙が選択指示されたら、ユーザによる第 1 または第 2 の排紙手段の排紙先選択状態及び各給紙手段に指定されたページ順序に応じて、有効な画像転写結果が得られようにタブ紙を給紙可能な前記第 1 または第 2 の給紙手段を自動選択制御することにより、タブ紙の設定による出力形態について何ら意識することなく、タブ紙給紙と排紙先とを選択するという簡単な操作指示で、出力結果が有効となるタブ紙モード出力結果を得ることができるタブ紙モード操作設定環境を自在に構築できるとともに、従来のタブ紙モード処理エラーとなる画像形成を制限して紙資源を節減できる画像形成装置および画像形成装置のタブ紙モード処理方法およびコンピュータが読み取り可能な記憶媒体およびプログラムを提供するものである。

【 0 0 1 5 】**【課題を解決するための手段】**

本発明に係る第 1 の発明は、所定のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段（図 1 に示すカセット 2 1 a ～ 2 1 d）と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段（図 1 に示すデッキ 2 8，手差しトレイ 2 7）と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段（図 1 に示すフェイスアップトレイ 2）と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙

手段（図 1 に示すフェイスダウントレイ 3）と、前記第 1，第 2 の給紙手段から給送可能なタブ紙のページ順序を指定するページ順序指定手段（図 13，図 15 に示す操作画面）と、前記第 1，第 2 の給紙手段に対して前記ページ順序指定手段により指定されるページ順序を割り付けた用紙管理情報（図 9）を記憶する第 1 の記憶手段（図 1 に示すコントローラ部 CONT 内の図示しない RAM）と、タブ紙給紙を選択指示するタブ紙給紙指示手段（図 12 に示す「タブ紙インサート」キー 1229，「タブ紙作成」キー 1230）と、前記タブ紙給紙指示手段によりタブ紙給紙が選択指示された場合に、ユーザによる前記第 1 または第 2 の排紙手段の排紙先選択状態（図 11 のフェイスアップトレイキー 1001，フェイスダウントレイキー 1003 の選択状態）及び各給紙手段に指定されたページ順序（図 9）に応じて、有効な画像転写結果が得られようにタブ紙を給紙可能な前記第 1 または第 2 の給紙手段を自動選択制御する制御手段（図 1 に示すコントローラ部 CONT 内の図示しない CPU，図 10）とを有することを特徴とする。

【0016】

本発明に係る第 2 の発明は、所定のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を上から給紙し反転した面に画像転写する第 1 の搬送経路を介して給紙する第 1 の給紙手段（図 1 に示すカセット 21a～21d）と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を上から給紙し反転することなく給紙した面に画像転写する第 2 の搬送経路を介して給紙する第 2 の給紙手段（図 1 に示すデッキ 28，手差しトレイ 27）と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第 1 の排紙手段（図 1 に示すフェイスアップトレイ 2）と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第 2 の排紙手段（図 1 に示すフェイスダウントレイ 3）と、前記第 1 または第 2 の給紙手段から給紙可能な用紙の種別がシート材であるかタブ紙であるかの指定と、該タブ紙であると指定した場合には、該タブ紙のページ順序を指定するページ順序指定手段（図 13，図 15 に示す操作画面）と、第 1，第 2 の給紙手段に対して前記ページ順序指定手段により指定されるシート材の種別及びページ順序を割り付けた用紙管理情報（図 9）を記憶する第 1 の記憶手段（

図 1 に示すコントローラ部 CONT 内の図示しない RAM) と、タブ紙給紙を選択指示するタブ紙給紙指示手段 (図 12 に示す「タブ紙インサート」キー 1229, 「タブ紙作成」キー 1230) と、前記タブ紙給紙指示手段によりタブ紙給紙が選択指示された場合に、ユーザによる前記第 1 または第 2 の排紙手段の排紙先選択状態 (図 11 のフェイスアップトレイキー 1001, フェイスダウントレイキー 1003 の選択状態) 及び各給紙手段に指定されたページ順序 (図 9) に応じて、有効な画像転写結果が得られるようにタブ紙を給紙可能な前記第 1 または第 2 の給紙手段を自動選択制御する制御手段 (図 1 に示すコントローラ部 CONT 内の図示しない CPU, 図 10) とを有することを特徴とする。

【0017】

本発明に係る第 3 の発明は、タブ紙への有効な画像転写結果が得られる第 1, 第 2 の給紙手段とタブ紙のページ順序と第 1, 第 2 の排紙手段の組み合わせ情報 (図 8) を記憶する第 2 の記憶手段 (図 1 に示すコントローラ部 CONT 内の図示しない不揮発性メモリ) を備え、前記制御手段 (図 1 に示すコントローラ部 CONT 内の図示しない CPU) は、前記タブ紙給紙指示手段によりタブ紙給紙が選択指示された場合に、ユーザによる前記第 1 または第 2 の排紙手段の排紙先選択状態及び各給紙手段に指定されたページ順序に応じて、前記第 2 の記憶手段に記憶される組み合わせ情報に適應するようにタブ紙を給紙可能な前記第 1 または第 2 の給紙手段を自動選択制御することを特徴とする。

【0018】

本発明に係る第 4 の発明は、前記第 1 の給紙手段は、シート材またはタブ紙を積載収容する画像形成装置本体内に収納される給紙カセット (図 1 に示すカセット 21a ~ 21d) を含むことを特徴とする。

【0019】

本発明に係る第 5 の発明は、前記第 2 の給紙手段は、シート材またはタブ紙を積載収容するデッキ、または手差しトレイ (図 1 に示すデッキ 28, 手差しトレイ 27) を含むことを特徴とする。

【0020】

本発明に係る第 6 の発明は、前記制御手段 (図 1 に示すコントローラ部 CON

T内の図示しないCPU)は、前記第1、第2の給紙手段のいずれも有効な画像転写結果が得られるようにタブ紙を給紙不可能な場合に、排紙先選択エラーを含む警告を操作パネルに表示する(図10のステップ908)ことを特徴とする。

【0021】

本発明に係る第7の発明は、前記タブ紙は、タブ順序が正順のノーマルタブ紙又はタブ順序が逆順のリバースタブ紙であることを特徴とする。

【0022】

本発明に係る第8の発明は、所定のタブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第1の搬送経路を介して給紙する第1の給紙手段と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段と、前記所定のタブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段とを備え、前記所定のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置のタブ紙モード処理方法であって、前記第1、第2の給紙手段から給送可能なタブ紙のページ順序を指定するページ順序指定ステップ(図10のステップS901以前の図示しないステップ)と、第1、第2の給紙手段に対して前記ページ順序指定ステップにより指定されるページ順序を割り付けた用紙管理情報を記憶する記憶ステップ(図10のステップS901以前の図示しないステップ)と、タブ紙給紙を選択指示するタブ給紙指示ステップ(図10のステップS901以前の図示しないステップ)と、前記タブ給紙指示ステップによりタブ紙給紙が選択指示された場合に、ユーザによる前記第1または第2の排紙手段の排紙先選択状態及び各給紙手段に指定されたページ順序に応じて、有効な画像転写結果が得られようようにタブ紙を給紙可能な前記第1または第2の給紙手段を自動選択制御する制御ステップ(図10のステップS901～S915)とを有することを特徴とする。

【0023】

本発明に係る第9の発明は、請求項8に記載の画像形成装置のタブ紙モード処理方法を実行させるためのプログラムをコンピュータが読み取り可能な記憶媒体に記憶させたことを特徴とする。

【0024】

本発明に係る第10の発明は、請求項8に記載の画像形成装置のタブ紙モード処理方法を実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【0025】

本発明に係る第11の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第1の搬送経路を介して給紙する第1の給紙手段（図1に示すカセット21a～21d）と、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段（図1に示すデッキ28，手差しトレイ27）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、前記第1の排紙手段が選択されたことに応じて、正順のタブ紙束がセットされた前記第1の給紙手段又は逆順のタブ紙束がセットされた前記第2の給紙手段を選択する制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0026】

本発明に係る第12の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第1の搬送経路を介して給紙する第1の給紙手段（図1に示すカセット21a～21d）と、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段（図1に示すデッキ28，手差しトレイ27）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、前記第2の排紙手段が選択されたことに応じて、逆順のタブ紙束がセットされた前記第1の給紙手段又は正順のタブ紙束がセットされた前記第2の給紙手段を選択する制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0027】

本発明に係る第13の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第1の搬送経路を介して給紙する第1の給紙手段（図1に示すカセット21a～21d）と、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段（図1に示すデッキ28、手差しトレイ27）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、正順のタブ紙束がセットされた前記第1の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第1の排紙手段を選択する制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0028】

本発明に係る第14の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第1の搬送経路を介して給紙する第1の給紙手段（図1に示すカセット21a～21d）と、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段（図1に示すデッキ28、手差しトレイ27）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、逆順のタブ紙束がセットされた前記第1の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第2の排紙手段を選択する制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0029】

本発明に係る第15の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転

写する第1の搬送経路を介して給紙する第1の給紙手段（図1に示すカセット21a～21d）と、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段（図1に示すデッキ28，手差しトレイ27）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、正順のタブ紙束がセットされた前記第2の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第2の排紙手段を選択する制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0030】

本発明に係る第16の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第1の搬送経路を介して給紙する第1の給紙手段（図1に示すカセット21a～21d）と、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段（図1に示すデッキ28，手差しトレイ27）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、逆順のタブ紙束がセットされた前記第2の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第1の排紙手段を選択する制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0031】

本発明に係る第17の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段（図1に示すカセット21a～21d）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェ

イスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、正順のタブ紙束がセットされた前記給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第1の排紙手段へ排紙させる制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0032】

本発明に係る第18の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段（図1に示すカセット21a～21d）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、正順のタブ紙束がセットされた前記給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第2の排紙手段へ排紙させる制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0033】

本発明に係る第19の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段（図1に示すデッキ28，手差しトレイ27）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、正順のタブ紙束がセットされた前記給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第2の排紙手段へ排紙させる制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0034】

本発明に係る第20の発明は、正順又は逆順のタブ紙束中のタブ紙を順次給紙可能な画像形成装置であって、前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段（図1に示すデッキ28，手差しトレイ27）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態

で排紙する第1の排紙手段（図1に示すフェイスアップトレイ2）と、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段（図1に示すフェイスダウントレイ3）と、逆順のタブ紙束がセットされた前記給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第1の排紙手段へ排紙させる制御手段（図1に示すコントローラ部CONT内の図示しないCPU）とを有することを特徴とする。

【0035】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明の一実施形態を示す画像形成装置の構成を説明する概略断面図であり、マルチトレイと4段給紙カセットとペーパデッキからの給紙が選択可能な電子写真方式に基づく4連タンデムカラー画像形成装置例に対応する。

【0036】

図1において、1は画像形成装置であり、大別して、画像形成部（4つのステーションSa, Sb, Sc, Sdが並設されており、その構成は同一である）、給紙部、中間転写部、搬送部、定着ユニット、操作部、及び制御ユニット（後述するコントローラ部）から構成される。なお、CONTはコントローラ部で、CPU, RAM, ROM等を備えるコントローラボードから構成されており、ROMに記憶される制御プログラムに基づき、給紙部、中間転写部、搬送部、定着ユニット、操作部の動作を総括的に制御している。また、ROMには、後述する図10に示す制御手順が記憶されているものとする。

【0037】

次に、個々のユニットについて詳しく説明する。

【0038】

画像形成部は次に述べるような構成になっている。像担持体としての感光ドラム11a, 11b, 11c, 11dがその中心で軸支され、矢印方向に不図示の駆動モータによって回転駆動される。感光ドラム11a～11dの外周面に対向してその回転方向にローラ帯電器12a, 12b, 12c, 12d、スキャナ13a, 13b, 13c, 13d、現像装置14a, 14b, 14c, 14dが配置されている。ローラ帯電器12a～12dにおいて感光ドラム11a～11dの表面に均一な帯電量の電荷を与える。

【0039】

次いで、スキヤナ13a～13dにより、記録画像信号に応じて変調した、例えばレーザビームなどの光線を感じ光ドラム11a～11d上に露光させることによって、そこに静電潜像を形成する。さらに、イエロー、シアン、マゼンタ、ブラックといった4色の現像剤（トナー）をそれぞれ収納した現像装置14a～14dによって上記静電潜像を顕像化する。顕像化された可視画像を中間転写ベルト30に転写する。以上に示したプロセスにより、各トナーによる画像形成が順次行われる。

【0040】

次に、給紙部は、記録材Pを収納する部分と、記録材Pを搬送するためのローラ、記録材Pの通過を検知するためのセンサ、記録材Pの有無を検知するためのセンサ、記録材Pを搬送路に沿って搬送させるためのガイド（不図示）から構成される。

【0041】

21a, 21b, 21c, 21dはカセット、27は手差しトレイ、28はデッキであり、記録材Pを収納する。22a, 22b, 22c, 22dは、カセット21a～21dから記録材Pを上から一枚ずつ送り出すためのピックアップローラである。

【0042】

ピックアップローラ22a～22dでは、複数枚の記録材Pが送り出されることがあるが、BCローラ23a, 23b, 23c, 23dによって確実に一枚だけ分離される。BCローラ23a～23dによって一枚だけ分離された記録材Pは、さらに引き抜きローラ24a～24d、レジ前ローラ26によって搬送され、レジストローラ25まで搬送される。

【0043】

また、手差しトレイ27に収納された記録材Pは、BCローラ29によって一枚だけ分離され、レジ前ローラ26によってレジストローラ25まで搬送される。また、デッキ28に収納された記録材Pは、ピックアップローラ60によって給紙ローラ61まで複数枚搬送され、給紙ローラ61によって一枚だけ確実に分

離され、引き抜きローラ 62 まで搬送される。さらに記録材 P はレジ前ローラ 26 によってレジストローラ 25 まで搬送される。

【0044】

次に、中間転写ユニットについて詳細に説明する。

【0045】

30 は中間転写ベルトであり、その材料として例えば、PET「ポリエチレンテレフタレート」や PVdF「ポリフッ化ビニリデン」などが用いられる。32 は前記中間転写ベルト 30 に駆動を伝達する駆動ローラであり、ばね（不図示）の付勢によって中間転写ベルト 30 に適度な張力を与えるテンションローラ 33、中間転写ベルト 30 を挟んで二次転写領域を形成する従動ローラ 34 によって支持されている。

【0046】

駆動ローラ 32 は金属ローラの表面に数 mm 厚のゴム（ウレタンまたはクロロプレン）をコーティングしてベルトとのスリップを防いでいる。駆動ローラ 32 はステッピングモータ（不図示）によって回転駆動される。各感光ドラム 11a ～ 11d と、中間転写ベルト 30 をはさんで対向する位置の、中間転写ベルト 30 の裏には、トナー像を中間転写ベルト 30 に転写するための高圧が印加されている一次転写ローラ 35a ～ 35d が配置されている。従動ローラ 34 に対向して二次転写ローラ 36 が配置され、中間転写ベルト 30 とのニップによって二次転写領域を形成する。二次転写ローラ 36 は中間転写ベルト 30 に対して適度な圧力で加圧されている。

【0047】

また、中間転写ベルト 30 上、二次転写領域の下流には中間転写ベルト 30 の画像形成面をクリーニングするためのクリーニング装置 50 が配され、前記クリーニング装置 50 は、クリーナブレード 51（材質としては、ポリウレタンゴムなどが用いられる）および廃トナーを収納する廃トナーボックス 52 から成る。

【0048】

定着ユニット 40 は、内部にハロゲンヒータなどの熱源を備えた定着ローラ 41a とそのローラに加圧されるローラ 41b（このローラにも熱源を備える場合

もある)、上記ローラ対から排出されてきた記録材 P を搬送する内排紙ローラ 44 から成る。

【0049】

一方、レジストローラ 25 まで搬送された記録材 P は、レジストローラ 25 よりも上流のローラの回転駆動を止めて一旦停止させ、画像形成部の画像形成タイミングに合わせてレジストローラ 25 を含む上流のローラの回転駆動が再開される。記録材 P は後述の二次転写領域へ送り出される。

【0050】

二次転写領域において画像が転写され、定着ユニット 40 において画像が定着された記録材 P は、内排紙ローラ 44 を通過した後、切り替えフラップ 73 によって、搬送先が切り替えられる。切り替えフラップ 73 がフェイスアップ排紙側にある場合は、記録材 P は外排紙ローラ 45 によってフェイスアップ排紙トレイ 2 に排出される。

【0051】

一方、切り替えフラップ 73 がフェイスダウン排紙側にある場合は、記録材 P は反転ローラ 72 a, 72 b, 72 c の方向へ搬送され、フェイスダウン排紙トレイ 3 へ排出される。

【0052】

なお、記録材 P の搬送路には、記録材 P の通過を検知するために複数のセンサが配置されており、給紙リトライセンサ 64 a, 64 b, 64 c, 64 d、デッキ給紙センサ 65、デッキ引き抜きセンサ 66、レジストセンサ 67、内排紙センサ 68、フェイスダウン排紙センサ 69、両面プレレジセンサ 70、両面再給紙センサ 71 等がある。

【0053】

また、記録材 P を収納するカセット 21 a ~ 21 d には、記録材 P の有無を検知するカセット紙ありなしセンサ 63 a, 63 b, 63 c, 63 d が配置され、手差しトレイ 27 には手差しトレイ 27 上の記録材 P の有無を検知する手差しトレイ紙ありなしセンサ 74 が配置され、デッキ 28 にはデッキ 28 内の記録材 P の有無を検知するデッキ紙ありなしセンサ 75 が配置されている。

【0054】

制御ユニットは、上記各ユニット内の機構の動作を制御するための制御基板（不図示）や、モータドライブ基板（不図示）などから成る。

【0055】

操作部4は、画像形成装置1の上面に配置されており、記録材（転写材）Pの収納された給紙部（給紙カセット21a～21d、手差しトレイ27、デッキ28）の選択、排紙トレイ（フェイスアップトレイ2、フェイスダウントレイ3）の選択、タブ紙束の指定等が可能である。

【0056】

次に装置の動作に即して説明を加える。一例として、カセット21aから記録材Pを搬送する場合を説明する。

【0057】

画像形成動作開始信号が発せられてから所定時間経過後、まずピックアップローラ22aにより、カセット21aから転写材Pが一枚ずつ送り出される。そして給紙ローラ23によって転写材Pが引き抜きローラ24a、レジ前ローラ26を経由して、レジストローラ25まで搬送される。その時レジストローラ25は停止されており、紙先端はニップ部に突き当たる。

【0058】

その後、画像形成部が画像の形成を開始するタイミングに合わせてレジストローラ25は回転を始める。この回転時期は、転写材Pと画像形成部より中間転写ベルト30上に一次転写されたトナー画像とが二次転写領域においてちょうど一致するようにそのタイミングが設定されている。

【0059】

一方、画像形成部では、画像形成動作開始信号が発せられると、前述したプロセスにより中間転写ベルト30の回転方向において一番上流にある感光ドラム11d上に形成されたトナー画像が、高電圧が印加された転写ローラ35dによって一次転写領域において中間転写ベルト30に一次転写される。一次転写されたトナー像は次の一次転写領域まで搬送される。

【0060】

ここでは各画像形成部間をトナー像が搬送される時間だけ遅延して画像形成が行われており、前画像の上に画像先端を合わせて次のトナー像が転写される事になる。以下も同様の工程が繰り返され、結局4色のトナー像が中間転写ベルト30上において一次転写される。

【0061】

その後記録材Pが二次転写領域に進入し、中間転写ベルト30に接触すると、記録材Pの通過タイミングに合わせて二次転写ローラ36に、高電圧が印加される。そして前述したプロセスにより中間転写ベルト30上に形成された4色のトナー画像が記録材Pの表面に転写される。その後記録材Pは定着ローラニップ部まで案内される。そしてローラ対41a、41bの熱及びニップの圧力によってトナー画像が紙表面に定着される。その後、切り替えフラップの切り替え方向に応じて、フェイスアップ排紙トレイ2またはフェイスダウントレイ3に排出される。

【0062】

なお、本画像形成装置1には、原稿の画像を読み込んで画像データに変換する、不図示の原稿読み取り装置が接続されている。

【0063】

次に、図2を参照して図1に示した操作部4を説明する。

【0064】

図2は、図1に示した操作部4の構成を説明する平面図である。

【0065】

図2において、621は、電源が入っていることを示すパワーランプである。613はパワースイッチであり、このパワースイッチ613により電源のON/OFFの切り替えに合わせ、パワーランプ621は点灯、消灯する。622はテンキーであり、画像形成枚数の設定やモード設定の数値入力に使用する。また、ファクシミリ設定画面では、電話番号の入力に使用する。

【0066】

623はクリアキーであり、テンキーで入力した設定のクリアをする。616はリセットキーであり、設定された画像形成枚数や動作モードや選択給紙段等の

モードを規定値に戻すためのものである。

【0 0 6 7】

6 1 4 はスタートキーであり、このスタートキー 6 1 4 の押下により画像形成動作を開始する。スタートキー 6 1 4 の中央にはスタート可能か否かを示す赤色とグリーンの L E D（図示せず）があり、スタートができない場合は、赤色の L E D が点灯し、スタート可能な場合はグリーンの L E D が点灯する。6 1 5 はストップキーであり、複写動作の停止を行うために使用する。

【0 0 6 8】

6 1 7 はガイドキーであり、このキーを押下した後に、他のキーを押下すると、そのキーにより設定できる機能の説明が表示パネルに表示される。このガイド表示を解除する場合は、ガイドキー 6 1 7 を再度押下することにより行う。

【0 0 6 9】

6 1 8 はユーザ設定キーであり、このキーを押下すると画像形成装置の設定をユーザが変更可能になる。ユーザが変更できる設定は、例えば、自動的に設定をクリアするまでの時間や、リセットキーを押下した時のモードの規定値の設定等である。6 1 9 は割り込みキーであり、画像形成動作中にこのキーを押下すると、他の画像形成動作を中止して、コピーを行うことができる。

【0 0 7 0】

6 2 0 は液晶等で構成される表示パネルであり、詳細なモード設定を容易にするべく、設定モードに応じて表示内容が変わる。又、表示パネルの表面はタッチセンサになっている。この表示パネル 6 2 0 は、複写動作モードの操作画面の例を示している。

【0 0 7 1】

表示パネル 6 2 0 内には、6 2 4 ～ 6 3 1 のキーを表示しており、各キーの表示の位置を触れることにより、キーの押下を判断し、モードを設定する。6 2 4 は両面動作の設定キーであり、例えば、片面原稿から両面出力を行う「片一両モード」、両面原稿から両面出力を行う「両両モード」、両面原稿から 2 枚の片面出力を行う「両片モード」の 3 種類の両面モードの設定を行う。

【0 0 7 2】

6 2 5 は排紙トレイ選択キーであり、このキーの押下でフェイスアップトレイへの排紙と、フェイスダウントレイへの排紙を切り替える。6 2 6 は応用モードの設定キーであり、このキーを押下すると、多重動作や縮小レイアウトモード、表紙・合紙モード等の応用機能モードを設定する画面が表示パネルに表示され、例えば、図 1 3 のような各応用機能モードの設定キーの表示がされ、応用モードの設定を可能にする。

【 0 0 7 3 】

6 2 7 は用紙段の選択キーであり、このキーを押下すると、カセット 2 1 a ～ 2 1 d、デッキ 2 8、手差しトレイ 2 7 のいずれから給紙を行うかを設定する表示を表示パネル 6 2 0 に行う。6 2 8 ～ 6 3 1 は、複写動作の複写倍率を設定するキーである。表示パネル 6 2 0 内のキーの表示は、通常の表示の他に、表示のキーのモードが設定できない場合は、表示の線を点線（網掛け）にすることで、そのキーが操作できないことを表わすようになっている。

【 0 0 7 4 】

また、この例では、表示パネル 6 2 0 の画面上方には、複写動作の設定された内容の表示や、現在の動作状態が表示される。また、表示パネル 6 2 0 の画面下方には、後述する他の機能モードの動作状態を一ラインで表示可能な範囲として表示している。ここでは、コピー B のプリンタ部 2 への出力動作中であることを示している。

【 0 0 7 5 】

図 2 において、6 0 1 ～ 6 1 2 は前記画像形成装置 1 を用いた複写動作、システム動作の各機能の設定を行うための、各種キーおよび L E D 表示部であり、6 0 1、6 0 4、6 0 7、6 1 0 はそれぞれ各機能を切り替える機能切り替えキーである。これら機能切り替えキーは半透明のキーボタンで構成されており、キーの内部には L E D 等の表示ランプ（図示せず）がある。これらキーを押下することにより、操作画面を選択すると、キー内部のランプが点灯する。各キー内部のランプは、選択されている操作画面のキー内部にあるランプのみ点灯制御され、その他のキー内部のランプは消灯するように制御される。

【 0 0 7 6 】

また、各キーの右には、グリーンのLED603, 606, 609, 612が配置され、このLED603, 606, 609, 612は機能の動作状況をそのLEDの点灯制御で表わしている。例えば、コピーBのLED606は、コピーBがスタンバイ中では消灯制御され、コピーBが出力動作中の場合は、点滅制御される。同様に、ファックスのLED609では、通信動作中、プリント動作中、読み込み動作中では、点滅制御される。

【0077】

また、各キーの左には、レッドのLED602, 605, 608, 611が配置され、これらのLED602, 605, 608, 611は各機能の異常状況が発生したことをLEDの点灯制御で表わしている。例えば、コピーBのLED605はコピーBが、紙なし中断やJAM等の異常が発生した時、LED605は点滅制御される。このとき、コピーBの機能切り替えキー604を押下し、操作部4をコピーBに切り替えることにより、表示パネル620にコピーBの状況が表示され、異常状況の詳細を確認することができる。

【0078】

これらの機能切り替えキーは、各機能の動作状況によらず、いつでも押下可能であり、操作部4を切り替え可能である。本例のように、コピーA機能とコピーB機能が切り替え可能である場合に、前述したストップキー、スタートキー、リセットキー等の表示パネル620内のキー以外のキーは、機能切り替えキー601, 604により選択されている機能に対して、操作可能である。

【0079】

次に、図3を用いて、市販されているタブ紙束の種類について説明する。

【0080】

図3は、本発明の実施形態に係る画像形成装置に適用可能なタブ紙束の種類を説明する図であり、市販されているタブ紙束の一例として、一タブ紙束に5つのタブが付いている5タブ紙例である。

【0081】

図3に示す、例えば5タブ紙は5枚で一束をなしており、通常、図3の(A)に示すように、右上のタブNTABが最上面UPFに並んでいるタブ紙束（即ち

、ページ順序が正順のタブ紙束）がノーマルタブ N T A B と呼ばれており、図 3 の（B）に示すように、右上のタブ R T A B が最下面 D W F に並んでいるタブ紙束（即ち、ページ順序が逆順のタブ紙束）がリバースタブ R T A B と呼ばれており、主として、この二種類のタブ紙が市販されている。

【 0 0 8 2 】

図 4 ～図 7 は、本発明の実施形態に係る画像形成装置におけるタブ紙束搬送経路を説明する図であり、図 1，図 3 と同一のものには同一の符号を付してある。なお、①～⑤は搬送順序（搬送順番）を示す。

【 0 0 8 3 】

次に、図 4 を用いて、カセット 2 1 a からフェイスアップトレイ 2 へタブ紙束を搬送した場合のページ順序について説明する。

【 0 0 8 4 】

図 4 において、4 0 1 はカセット内に載置されているタブ紙束であり、装置上部から見た様子を示している。このタブ紙束 4 0 1 はノーマルタブである。このタブ紙束 4 0 1 は、タブの付いている辺とは反対側の辺 4 0 1 A を先頭にして各タブ紙が順次搬送順番に従って搬送される。そして、画像形成装置 1 内において、経路 R を介してタブ紙束 4 0 1 の各タブ紙が搬送される。

【 0 0 8 5 】

このように、カセット 2 1 a に積載されているときの下面（反転された面）に画像が形成されるためページ順序は逆となるが、フェイスアップトレイ 2 に排紙されるため、前のタブ紙の上に次のタブ紙が積載され、さらにページ順序が逆になり、タブ紙束 4 0 2 に示すように、フェイスアップトレイ 2 に積載されるタブ紙束 4 0 2 のページ順序はノーマルタブとなる。

【 0 0 8 6 】

次に、図 5 を用いて、カセット 2 1 a からフェイスダウントレイ 3 へタブ紙束を搬送した場合のページ順序について説明する。

【 0 0 8 7 】

図 5 において、5 0 1 はカセット内に載置されているタブ紙束であり、装置上部から見た様子を示している。このタブ紙束 5 0 1 はリバースタブ R T A B であ

る。このタブ紙束 5 0 1 は、タブの付いている辺とは反対側の辺 5 0 1 A を先頭にして搬送順番に従って搬送される。そして、画像形成装置 1 に内において、経路 R を介してタブ紙束 5 0 1 の各タブ紙が搬送される。

【 0 0 8 8 】

このように、タブ紙 5 0 1 はカセット 2 1 a 内で下面であった面に画像が形成されるためページ順序は逆となり、フェイスダウントレイ 3 に排紙されるため、ページ順序が逆のままである。したがって、フェイスダウントレイ 3 上にはタブ紙束 5 0 2 として排紙され、フェイスダウントレイ 3 に積載されるタブ紙束 5 0 2 はノーマルタブとなる。従って、カセット 2 1 a にノーマルタブ N T A B のタブ紙が積載された場合、得られる出力はリバースタブ R T A B となる。

【 0 0 8 9 】

次に、図 6 を用いて、デッキ 2 8 からフェイスアップトレイ 2 へタブ紙束を搬送した場合のページ順序について説明する。

【 0 0 9 0 】

図 6 において、6 0 1 はデッキ 2 8 内に載置されているタブ紙束であり、装置上部から見た様子を示している。このタブ紙束 6 0 1 はリバースタブ R T A B である。このタブ紙束 6 0 1 は、タブの付いている辺とは反対側の辺 6 0 1 A を先頭にして搬送される。そして、画像形成装置 1 に内において、経路 R を介してタブ紙束 6 0 1 の各タブ紙が搬送される。

【 0 0 9 1 】

このように、タブ紙束 6 0 1 はデッキ 2 8 からフェイスアップトレイ 2 への排紙の際には、タブ紙の搬送方向が反転されず、タブ紙の上面に画像が形成され、フェイスアップトレイ 2 に前に排出されたタブ紙の上に次のタブ紙が積載されるため、ページ順序が逆になり、フェイスアップトレイ 2 上ではタブ紙束 6 0 2 に示すように、ページ順序がノーマルタブ N T A B となる。従って、デッキ 2 8 にノーマルタブ N T A B のタブ紙束 6 0 1 を積載すると、フェイスアップトレイ 2 に排出されるタブ紙のページ順序は逆となり、得られる出力はリバースタブ R T A B となる。

【 0 0 9 2 】

次に、図 7 を用いて、デッキ 28 からフェイスダウントレイ 3 へタブ紙束を搬送した場合のページ順序について説明する。

【0093】

図 7 において、701 はデッキ 28 内に積載されているタブ紙束であり、装置上部から見た様子を示している。このタブ紙束 701 はノーマルタブ NTAB であり、このタブ紙束 701 は、タブの付いている辺とは反対側の辺 701A を先端にして搬送される。そして、画像形成装置 1 に内において、経路 R を介してタブ紙束 701 の各タブ紙が搬送される。

【0094】

このように、タブ紙束 701 は経路 R を搬送されるため、タブ紙はデッキ 28 に積載されている時の上面に画像が形成され、画像が形成された面が下になってフェイスダウントレイ 3 に積載される。デッキ 28 からフェイスダウントレイ 3 への排紙の際には、ページ順序が変わらないため、フェイスダウントレイ 3 に積載されるタブ紙束はノーマルタブ NTAB となる。

【0095】

図 3 ～図 7 を用いて説明したように、有効な画像を得ることができる給紙トレイ、排紙先、タブ紙束のページ順序の関係は図 8 に示すようになる。

【0096】

図 8 は、本発明の実施形態に係る画像形成装置においてタブ紙に有効な画像を得ることができる給紙トレイ、排紙先、タブ紙束のページ順序の関係を示す図である。

【0097】

図 8 に示すように、排紙先がフェイスダウン排紙の場合、タブ紙をカセット 21a ～ 21d から給紙する場合はページ順序が逆になるため、カセット 21a ～ 21d にはリバースタブ RTAB をセットし、タブ紙をデッキ 28 やマルチ手差しトレイ 27 から給紙する場合はページ順序が変わらないため、デッキ 28 やマルチ手差しトレイ 27 には、ノーマルタブ NTAB をセットする。

【0098】

一方、排紙先がフェイスアップ排紙の場合、タブ紙をカセット 21a ～ 21d

から給紙する場合はページ順序が変わらないため、ノーマルタブをセットし、タブ紙をデッキ 28 やマルチ手差しトレイ 27 から給紙する場合はページ順序が逆になるため、リバースタブ R T A B をセットする。

【0099】

なお、図 8 に示した有効な画像を得ることができる給紙トレイ、排紙先、タブ紙束のページ順序の関係をタブ紙束モード管理テーブルとして、コントローラ部 CONT 内の図示しない例えばハードディスク、EEPROM 等の不揮発性メモリに記憶しておき、コントローラ部 CONT 内の CPU がこのタブ紙束モード管理テーブルに適応するように、給紙段を自動選択するように構成してもよい。これにより、オプションで給紙段、排紙段等が追加された場合でも、このタブ紙束モード管理テーブルを変更するだけで、プログラムを変更することなく対応でき、装置の拡張性が格段に向上する。

【0100】

また、カセット 21a～21d、デッキ 28、手差しトレイ 27 が、収納されるタブ紙束の下から順次給紙する構成の場合、有効な画像を得ることができる給紙トレイ、排紙先、タブ紙束のページ順序の関係は、図 8 においてタブ紙束のページ順序のみを逆にしたものとなる。

【0101】

図 9 は、図 1 に示したコントローラ部 CONT 内の RAM に記憶される用紙管理情報の一例を示す図である。なお、用紙管理情報は、RAM 等の揮発性メモリ媒体に限らず、不揮発性メモリ媒体、例えばハードディスク、EEPROM 等で構成されていてもよい。

【0102】

図 9 において、給紙段となるカセット 21a～21d、手差しトレイ 27、デッキ 28 に対して、操作パネル 4 からタブ紙作成モード、もしくはタブ紙インサートモードを設定し、給紙される記録媒体の材質（マテリアル）とページ順序との組み合わせが登録された状態に対応する。したがって、その組み合わせは、ユーザが任意に設定できることはいうまでもない。

【0103】

これにより、RAM上には、各給紙段（カセット 2 1 a ～ 2 1 d、手差しトレイ 2 7、デッキ 2 8）に積載されているシートがタブ紙か、タブ紙であればページ順序がノーマルタブか、リバースタブか等、すなわちカセット 2 1 a、カセット 2 1 b には普通紙が格納されており、カセット 2 1 c にはノーマルタブが、カセット 2 1 d にはリバースタブが、手差しトレイ 2 7 には普通紙が、デッキ 2 8 にはノーマルタブが記憶される。

【 0 1 0 4 】

図 1 0 は、本発明の実施形態に係る画像形成装置におけるタブ紙モード処理手順の一例を示すフローチャートであり、図 1 に示したコントローラ部 CONT 内の ROM に記憶されたプログラムに基づいて CPU により実行されるものである。なお、S 9 0 1 ～ S 9 1 5 は各ステップを示す。以下、本実施形態において、各給紙段には図 9 で示したようにシート材が格納されているものとして説明する。

【 0 1 0 5 】

本制御が実施されると、まず、コントローラ部 CONT は、ステップ S 9 0 1 において、排紙トレイがフェイスダウントレイ 3、フェイスアップトレイ 2 のどちらが選択されているかを判定して、フェイスアップトレイが選択されていると判定した場合は、ステップ S 9 0 2 へ進み、フェイスダウントレイが選択されていると判定した場合は、ステップ S 9 0 9 へ進む。

【 0 1 0 6 】

そして、ステップ S 9 0 2 においては、カセット 2 1 a ～ カセット 2 1 d のどれかにタブ紙が収納されていないかを図 9 に示した管理情報を参照して判定し、収納されていると判定した場合には、ステップ S 9 0 6 へ進み、収納されているタブ紙のページ順序がノーマルタブかどうかを図 9 に示した管理情報を参照して判定し、ノーマルタブであると判定した場合は、ステップ S 9 0 7 へ進み、当該カセットを選択して処理を終了する。

【 0 1 0 7 】

一方、ステップ S 9 0 2 において、カセット 2 1 a ～ カセット 2 1 d にタブ紙が収納されていないと判定した場合と、ステップ S 9 0 6 においてノーマルタブ

が収納されていないと判定した場合は、ステップ S 9 0 3 へ進み、手差しトレイ 2 7、デッキ 2 8 にタブ紙が収納されているかどうかを図 9 に示した管理情報を参照して判定し、収納されていると判定した場合は、ステップ S 9 0 4 へ進み、収納されていないと判定した場合はステップ S 9 0 8 へ進む。

【0 1 0 8】

そして、ステップ S 9 0 8 においては、選択された排紙トレイと収納されているタブ紙の給紙段およびページ順序の組み合わせが最適となる組み合わせが存在しないため、ユーザにその旨を知らせる警告処理（ワーニング処理）を行って、処理を終了する。

【0 1 0 9】

一方、ステップ S 9 0 4 において、収納されているタブ紙がリバースタブであると判断した場合は、ステップ S 9 0 5 へ進み、最適な手差しトレイ 2 7 もしくはデッキ 2 8 を選択して、処理を終了する。

【0 1 1 0】

一方、ステップ S 9 0 4 において、リバースタブが収納されていなければ、やはり選択された排紙トレイと収納されているタブ紙の給紙段およびページ順序の組み合わせが最適となる組み合わせが存在しないため、ステップ S 9 0 8 へ進んでワーニング処理を行って、処理を終了する。

【0 1 1 1】

一方、ステップ S 9 0 1 において、フェイスダウントレイ 3 が選択されていると判断した場合には、ステップ S 9 0 9 へ進み、カセット 2 1 a ～カセット 2 1 d のどれかにタブ紙が収納されていないか図 9 に示した管理情報を参照して判定し、収納されていると判定した場合は、ステップ S 9 1 3 へ進み、収納されているタブ紙のページ順序がリバースタブかどうかを図 9 に示した管理情報を参照して判定し、リバースタブであると判断した場合は、ステップ S 9 1 4 へ進み、当該カセットを選択して処理を終了する。

【0 1 1 2】

一方、ステップ S 9 0 9 において、カセット 2 1 a ～カセット 2 1 d にタブ紙が収納されていないと判定した場合と、ステップ S 9 1 3 においてリバースタブ

が収納されていないと判定した場合は、ステップS910へ進み、手差しトレイ27、デッキ28にタブ紙が収納されているかどうかを図9に示した管理情報を参照して判定し、収納されていると判定した場合は、ステップS911へ進み、収納されていないと判定した場合は、ステップS915へ進む。

【0113】

そして、ステップS911において、収納されているタブ紙がノーマルタブRTABであればステップS912へ進み、最適な手差しトレイ27もしくはデッキ28を選択して、処理を終了する。

【0114】

一方、ステップS911において、ノーマルタブが収納されていないと判定した場合には、ステップS915へ進み、選択された排紙トレイと収納されているタブ紙の給紙段およびページ順序の組み合わせが最適となる組み合わせが存在しないため、ステップS915へ進んで、ワーニング処理を行って、処理を終了する。

【0115】

本実施形態によれば、例えばユーザがフェイスアップトレイ2を選択し、タブ紙を図9で説明したように収納している場合、最適な組み合わせとなる、カセット21cに収納されているノーマルタブのタブ紙が自動選択される。


【0116】

なお、以上図9に示した給紙段の自動選択制御は、図8に示した有効な画像を得ることができる給紙トレイ、排紙先、タブ紙束のページ順序の関係をタブ紙束モード管理テーブルとして、コントローラ部CONT内の図示しない例えばハードディスク、EEPROM等の不揮発性メモリに記憶しておき、コントローラ部CONT内のCPUがこのタブ紙束モード管理テーブルに適応するように、給紙段を自動選択するように構成してもよい。

【0117】

図11は、図1に示した操作部4に表示される操作画面の一例を示す図であり、以下、本実施形態における、排紙トレイの選択方法について説明する。

【0118】



なお、図 11 の (A) は、操作部 4 の表示パネル 620 のコピー可能状態（スタンバイ状態）における表示の一例である。この画面において、排紙トレイキー 625 を押すと、表示状態が図 11 の (B) に示すように切り替わり、排紙トレイ選択画面 1002 が表示される。

【0119】

図 11 の (B) に示す画面が表示されている状態で、フェイスアップトレイキー 1001 を押すと、動作開始後、給紙されたシートがフェイスアップトレイに排紙される。

【0120】

一方、排紙トレイ選択画面 1002 が表示されている状態で、フェイスダウントレイキー 1003 を押すと、動作開始後、給紙されたシートがフェイスダウントレイに排紙される。

【0121】

次に、図 12～図 15 を用いて、本実施形態におけるタブ紙束のページ順序指定方法について説明する。

【0122】

図 12～図 15 は、図 2 に示した表示パネル 620 に表示される操作画面例を示す図である。

【0123】

図 12 に示す応用モード一覧画面は、図 2 に示した表示パネル 620 の応用モードキー 626 がユーザにより押下指示されると、表示される画面である。この画面には、各コピーモードを設定する機能のアイコンが表示されている。

【0124】

図 12 において、「ページ連写」キー 1221 は、原稿を見開きとして見なし、2 分割して 2 つの原稿として読み取るモードを設定するキーである。

【0125】

「表紙／合紙」キー 1222 は、出力紙に表紙や裏表紙、仕切りのための合紙を給紙段選択し、1 部のコピーを出力させるモードを設定するキーである。

【0126】

「製本モード」キー 1 2 2 3 は、原稿をコピーしたときに、出力紙の中央で中折りし、見開きの本のようにして出力するモードを設定するキーである。

【0 1 2 7】

「ネガポジ反転」キー 1 2 2 4 は、原稿画像の白部分を黒にコピーし、黒部分を白にコピーするモードを設定するキーである。

【0 1 2 8】

「モードメモリ」キー 1 2 2 5 は、複数のキー操作で設定されるモードの組み合わせを記憶させるためのキーである。

【0 1 2 9】

「OHP 中差し」キー 1 2 2 6 は、手差しトレイ 2 7 等に OHP 用紙をセットし、マルチ手差しトレイ 2 7 にセットされた OHP 用紙と、普通紙を交互に給紙し、OHP 用紙にプリントを行う OHP 中差しモードを設定するキーである。

【0 1 3 0】

「イメージ合成」キー 1 2 2 8 は、予め登録されている背景の画像をプリントする画像に重ね合わせて出力するモードを設定するキーである。

【0 1 3 1】

「タブ紙インサート」キー 1 2 2 9 は、タブ紙を仕切り用紙としてプリント紙の間に挿入するモードを設定するキーである。

【0 1 3 2】

「タブ紙作成」キー 1 2 3 0 は、タブ紙を給紙し、タブ部分に印字するモードを設定するキーである。

【0 1 3 3】

「コール」キー 1 2 3 1 は、前回のコピー時の設定を呼び戻すモードを実行するキーである。

【0 1 3 4】

「移動」キー 1 2 3 2 は、原稿画像を出力する用紙に対して、どのように移動させるかを設定するモードを設定するキーである。

【0 1 3 5】

「とじ代」キー 1 2 3 3 は、原稿画像を出力する用紙に対してとじ代を作成す

るために画像を移動させるモードを設定するキーである。

【0136】

「枠消し」キー 1234 は、原稿画像の外枠を消去したり、印字時に用紙の外枠の画像を消去したりするモードを設定するキーである。

【0137】

「縮小レイアウト」キー 1235 は、複数の原稿を 1 枚の用紙にレイアウトして印字するとき、設定されるモードを実行するキーである。

【0138】

「拡大レイアウト」キー 1236 は、縮小レイアウト等で作成された 1 枚当たりの複数の画像を分割し、印字するモードを実行するキーである。

【0139】

「閉じる」キー 1237 は、応用モードのサブウィンドウを閉じ、図 11-A) の標準画面に戻すためのキーである。

【0140】

この図 12 で説明した画面において、タブ紙インサートキー 1229 もしくは、タブ紙作成キー 1230 がユーザにより押下指示されると、表示パネル 620 の表示は、図 13 に示すタブ紙設定画面に移行する。

【0141】

そして、図 13 において、タブ紙を収納するカセット、手差しトレイ、デッキのいずれかが選択可能となる。

【0142】

図 13 において、1211 は手差しキーであり、タブ紙を収納するトレイとして、手差しトレイ 27 に設定する場合に押下指示する。1212 はカセット 1 キーであり、タブ紙を収納するカセットとして、カセット 21a を指定する場合に押下指示する。

【0143】

1213 はカセット 2 キーであり、タブ紙を収納するカセットとして、カセット 21b を指定する場合に押下指示する。1214 はカセット 3 キーであり、タブ紙を収納するカセットとして、カセット 21c を指定する場合に押下指示する。

。

【0144】

1215はカセット4キーであり、タブ紙を収納するカセットとして、カセット21dを指定する場合に押下指示する。1216はデッキキーであり、タブ紙を収納するカセットとして、デッキ28を指定する場合に押下指示する。

【0145】

1217は閉じるキーであり、タブ紙を収納するトレイを選択する操作を中断する場合に押下指示する。これらのいずれかのキーをユーザが押下指示すると、表示パネル620の表示画面は、図14に示すタブ数設定画面に移行する。

【0146】

なお、図13に示す画面で、本実施形態においては、カセット3キー1214を押したものとする。

【0147】

図14に示すタブ数設定画面では、ユーザがタブ紙束のタブ分割数を入力する。なお、5枚のタブ紙によって1セットを構成している5タブ紙が一般的であるが、2枚のタブ紙によって1セットを構成している2タブ紙から、12枚のタブ紙によって1セットを構成している12タブ紙を設定することができる。ここで、「タブ分割数」は、1セットに含まれているタブ紙の枚数である。

【0148】

図14において、領域1301には、現在設定しようとしているタブ分割数を示し、「マイナス」キー1302、「プラス」キー1303によって、タブ分割数を増減させることが可能である。

【0149】

「OK」キー1304は、入力したタブ分割数を設定するキーである。「取り消し」キー1305は、タブ分割数を設定せずに、タブ分割数を入力するサブウィンドウから、図12で説明した応用モードの画面へ戻るときに押下するキーである。

【0150】

図14の画面においてタブ数を入力し、OKキー1304を押すと、次にタブ

紙のページ順序を指定する図 15 に示す画面が表示パネル 620 に表示される。

【0151】

図 15 に示す画面では、載置するタブ紙のページ順序を指定する。

【0152】

図 15 において、載置するタブ紙がノーマルタブであれば、ノーマルタブキー 1218 を押下指示する。載置するタブ紙がリバースタブであれば、リバースタブキー 1219 を押下指示する。

【0153】

載置するタブ紙のページ順に従い、ノーマルタブキー 1218、リバースタブキー 1219 のどちらかのキーを押した後、OK キー 1220 を押すことで設定が確定し、図 16 に示す画面が表示される。

【0154】

一方、取り消しキー 1238 が押下指示された場合には、図 14 で説明した、タブ分割数を入力する画面に戻る。

【0155】

図 16 に示す用紙選択画面表示は、図 11 で説明した図と同一の画面表示であり、カセット 21c をタブ紙を載置するカセットとして指定した結果、カセット 3 キー 1214 の色が白黒反転し、さらに、「タブ」表示が付加されている。

【0156】

ここで、キー 1217 を押下指示すると、図 11 の (A) に示した標準画面に戻るが、さらに、キー 1211～1216 のいずれかを押下指示すれば、引き続いて図 16 の画面が表示され、続けてタブ紙の設定が他の給紙トレイに対して行うことが可能となる。

【0157】

以上説明したように、フェイスアップトレイ 2 が選択されたことに応じて、正順のタブ紙束がセットされたカセット 21a～21d（タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）又は逆順のタブ紙束がセットされたデッキ 28 又は手差しトレイ 27（タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）を選択するようにコント

ローラ部CONT内の図示しないCPUが制御する構成を特徴とする。

【0158】

また、フェイスダウントレイ3が選択されたことに応じて、逆順のタブ紙束がセットされたカセット21a～21d（タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）又は正順のタブ紙束がセットされたデッキ28又は手差しトレイ27（タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）を選択するようにコントローラ部CONT内の図示しないCPUが制御する構成を特徴とする。

【0159】

さらに、上記実施形態では、タブ紙を給紙する場合、ユーザによる排紙トレイの選択状態に応じて、給紙部を選択制御する構成について説明したが、逆に、ユーザによる給紙部の選択状態等に応じて、排紙トレイを選択制御するように構成してもよい。

【0160】

例えば、正順のタブ紙束がセットされたカセット21a～21d（タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）が選択されたことに応じて、コントローラ部CONT内の図示しないCPUが、フェイスアップトレイ2を選択制御するように構成してもよい。

【0161】

また、逆順のタブ紙束がセットされたカセット21a～21d（タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）が選択されたことに応じて、コントローラ部CONT内の図示しないCPUが、フェイスダウントレイ3を選択制御するように構成してもよい。

【0162】

さらに、正順のタブ紙束がセットされたデッキ28又は手差しトレイ27（タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）が選択されたことに応じて、コントローラ部CONT内の図示しないCPUが、フェイスダウントレイ3を選択制御するように構成してもよい。

【0163】

また、逆順のタブ紙束がセットされたデッキ 28 又は手差しトレイ 27（タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）が選択されたことに応じて、コントローラ部 CONT 内の図示しない CPU が、フェイスアップトレイ 2 を選択制御するように構成してもよい。

【0164】

さらに、コントローラ部 CONT 内の図示しない CPU が、正順のタブ紙束がセットされたカセット 21a～21d（タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）から給紙した各タブ紙はフェイスアップトレイ 2 へ排紙制御するように構成してもよい。

【0165】

また、コントローラ部 CONT 内の図示しない CPU が、逆順のタブ紙束がセットされたカセット 21a～21d（タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）から給紙した各タブ紙はフェイスダウントレイ 3 へ排紙制御するように構成してもよい。

【0166】

さらに、コントローラ部 CONT 内の図示しない CPU が、正順のタブ紙束がセットされた図 1 に示すデッキ 28 又は手差しトレイ 27（タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）から給紙した各タブ紙はフェイスダウントレイ 3 へ排紙制御するように構成してもよい。

【0167】

また、コントローラ部 CONT 内の図示しない CPU が、逆順のタブ紙束がセットされた図 1 に示すデッキ 28 又は手差しトレイ 27（タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙）から給紙した各タブ紙はフェイスアップトレイ 2 へ排紙制御するように構成してもよい。

【0168】

以下、図 17 に示すメモリマップを参照して本発明の実施形態に係る画像形成装置で読み出し可能なデータ処理プログラムの構成について説明する。

【0169】

図17は、本発明の実施形態に係る画像形成装置で読み出し可能な各種データ処理プログラムを格納する記憶媒体のメモリマップを説明する図である。

【0170】

なお、特に図示しないが、記憶媒体に記憶されるプログラム群を管理する情報、例えばバージョン情報、作成者等も記憶され、かつ、プログラム読み出し側のOS等に依存する情報、例えばプログラムを識別表示するアイコン等も記憶される場合もある。

【0171】

さらに、各種プログラムに従属するデータも上記ディレクトリに管理されている。また、各種プログラムをコンピュータにインストールするためのプログラムや、インストールするプログラムが圧縮されている場合に、解凍するプログラム等も記憶される場合もある。

【0172】

本実施形態における図10に示す機能が外部からインストールされるプログラムによって、ホストコンピュータにより遂行されていてもよい。そして、その場合、CD-ROMやフラッシュメモリやFD等の記憶媒体により、あるいはネットワークを介して外部の記憶媒体から、プログラムを含む情報群を出力装置に供給される場合でも本発明は適用されるものである。

【0173】

以上のように、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読出し実行することによっても、本発明の目的が達成されることは言うまでもない。

【0174】

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が本発明の新規な機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

【0175】

プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、例えば、フレキシブルディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモ리카ード、ROM、EEPROM等を用いることができる。

【0176】

また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているOS（オペレーティングシステム）等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0177】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPU等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0178】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明に係る第1～第12の発明によれば、第1及び第2の給紙手段から給紙可能なタブ紙に対して指定されるページ順序を用紙管理情報として割り付けた用紙管理情報を記憶しておき、タブ紙給紙が選択指示されたら、ユーザによる第1または第2の排紙手段の排紙先選択状態及び各給紙段に指定されたページ順序に応じて、有効な画像転写結果が得られようにタブ紙を給紙可能な前記第1または第2の給紙手段を自動選択制御するので、タブ紙の設定による出力形態について何ら意識することなく、タブ紙給紙と排紙先とを選択するという簡単な操作指示で、出力結果が有効となるタブ紙モード出力結果を得ることができるタブ紙モード操作設定環境を自在に構築できるとともに、従来のタブ紙モード処理エラーとなる画像形成を制限して紙資源を節減できるという効果を

奏する。

【0179】

第13～第20の発明によれば、制御手段は、正順のタブ紙束がセットされたタブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する第1の搬送経路を介して給紙する第1の給紙手段が選択されたことに応じて、タブ紙束中の各タブ紙をフェイスアップ状態で排紙する第1の排紙手段を選択し、また、逆順のタブ紙束がセットされた前記第1の給紙手段が選択されたことに応じて、前記タブ紙束中の各タブ紙をフェイスダウン状態で排紙する第2の排紙手段を選択し、さらに、正順のタブ紙束がセットされたタブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する第2の搬送経路を介して給紙する第2の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第2の排紙手段を選択し、また、逆順のタブ紙束がセットされた前記第2の給紙手段が選択されたことに応じて、前記第1の排紙手段を選択し、正順のタブ紙束がセットされた前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第1の排紙手段へ排紙させ、さらに、逆順のタブ紙束がセットされた前記タブ紙束中の各タブ紙を反転した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第2の排紙手段へ排紙させ、また、正順のタブ紙束がセットされた前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第2の排紙手段へ排紙させ、さらに、逆順のタブ紙束がセットされた前記タブ紙束中の各タブ紙を反転することなく給紙した面に画像転写する搬送経路を介して給紙する給紙手段から給紙した各タブ紙は前記第1の排紙手段へ排紙させるように制御するので、タブ紙の設定による出力形態について何ら意識することなく、タブ紙の給紙元を選択するという簡単な操作指示で、出力結果が有効となるタブ紙モード出力結果を得ることができるタブ紙モード操作設定環境を自在に構築できるとともに、従来のタブ紙モード処理エラーとなる画像形成を制限して紙資源を節減できるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施形態を示す画像形成装置の構成を説明する概略断面図である。

【図 2】

図 1 に示した操作部の構成を説明する平面図である。

【図 3】

本発明の実施形態に係る画像形成装置に適用可能なタブ紙束の種類を説明する図である。

【図 4】

本発明の実施形態に係る画像形成装置におけるタブ紙束搬送経路を説明する図である。

【図 5】

本発明の実施形態に係る画像形成装置におけるタブ紙束搬送経路を説明する図である。

【図 6】

本発明の実施形態に係る画像形成装置におけるタブ紙束搬送経路を説明する図である。

【図 7】

本発明の実施形態に係る画像形成装置におけるタブ紙束搬送経路を説明する図である。

【図 8】

本発明の実施形態に係る画像形成装置においてタブ紙に有効な画像を得ることができる給紙トレイ、排紙先、タブ紙束のページ順序の関係を示す図である。

【図 9】

図 1 に示したコントローラ部内の R A M に記憶される用紙管理情報の一例を示す図である。

【図 1 0】

本発明の実施形態に係る画像形成装置におけるタブ紙モード処理手順の一例を示すフローチャートである。

【図 1 1】

図 1 に示した操作部に表示される操作画面の一例を示す図である。

【図 1 2】

図 2 に示した表示パネルに表示される操作画面例を示す図である。

【図 1 3】

図 2 に示した表示パネルに表示される操作画面例を示す図である。

【図 1 4】

図 2 に示した表示パネルに表示される操作画面例を示す図である。

【図 1 5】

図 2 に示した表示パネルに表示される操作画面例を示す図である。

【図 1 6】

図 2 に示した表示パネルに表示される操作画面例を示す図である。

【図 1 7】

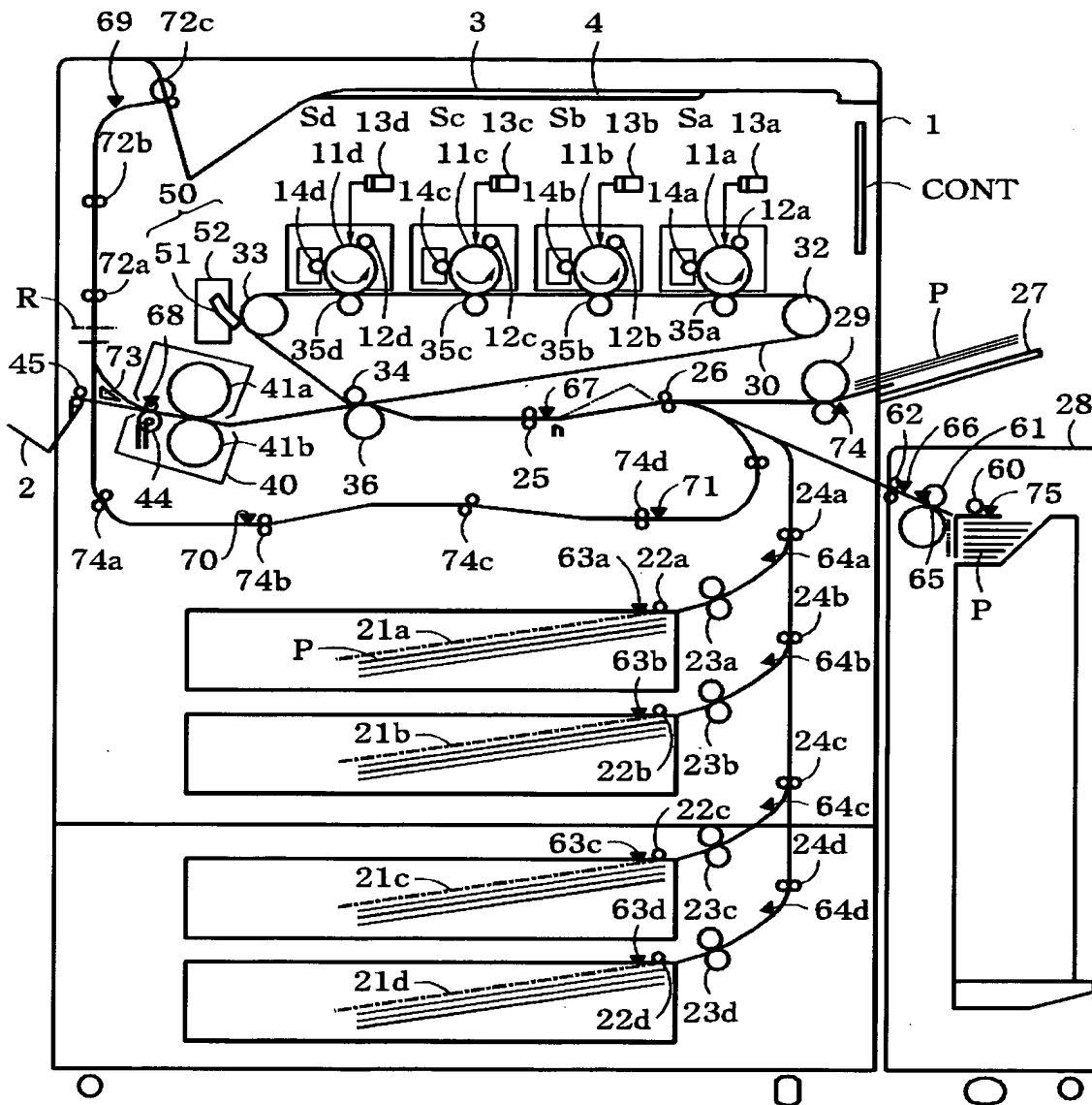
本発明の実施形態に係る画像形成装置で読み出し可能な各種データ処理プログラムを格納する記憶媒体のメモリマップを説明する図である。

【符号の説明】

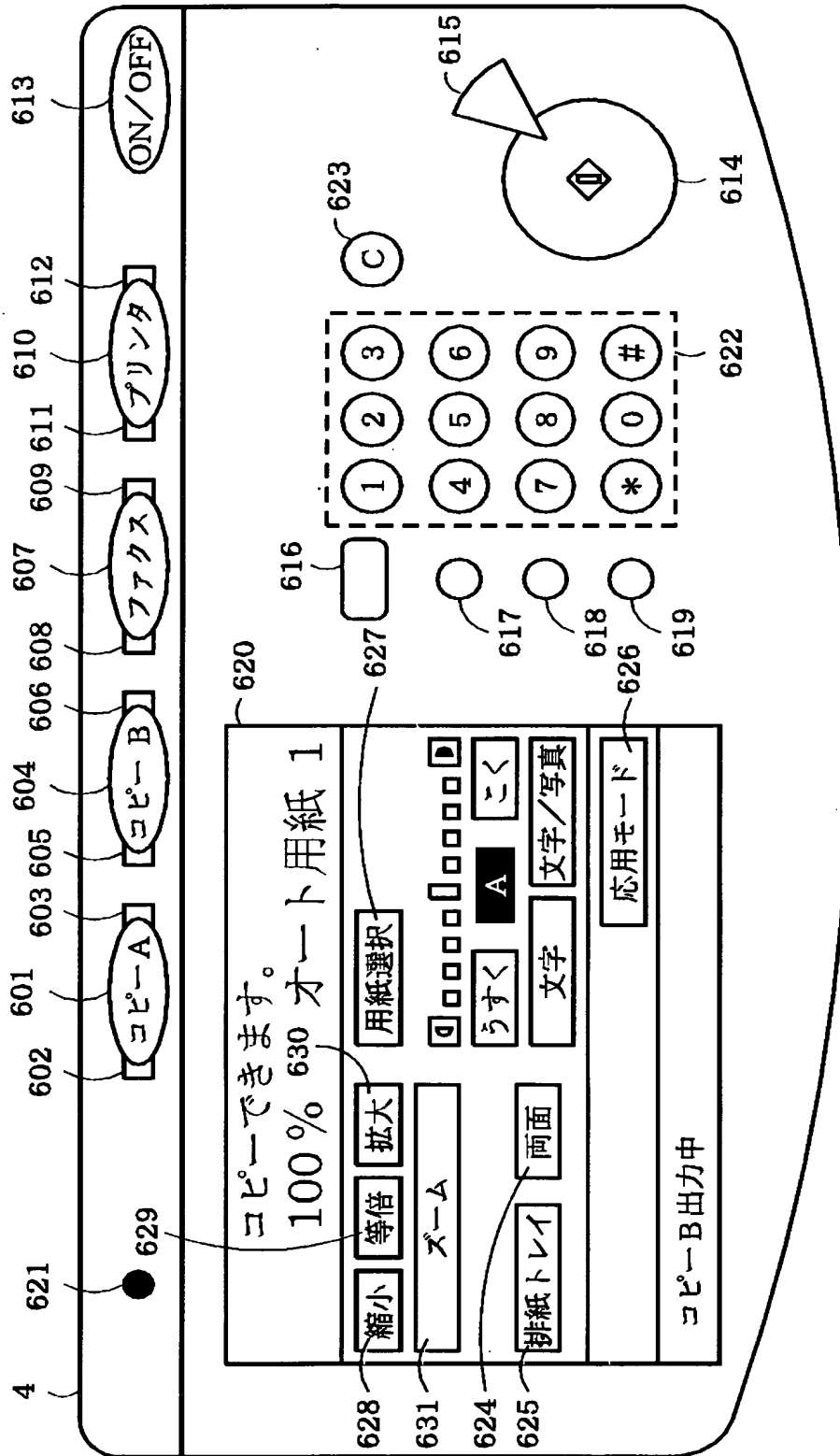
- 1 画像形成装置
- 2 フェイスアップトレイ
- 3 フェイスダウントレイ
- 4 操作部
- 2 1 a ~ 2 1 d カセット
- 2 7 手差しトレイ
- 2 8 デッキ
- CONT コントローラ部

【書類名】 図面

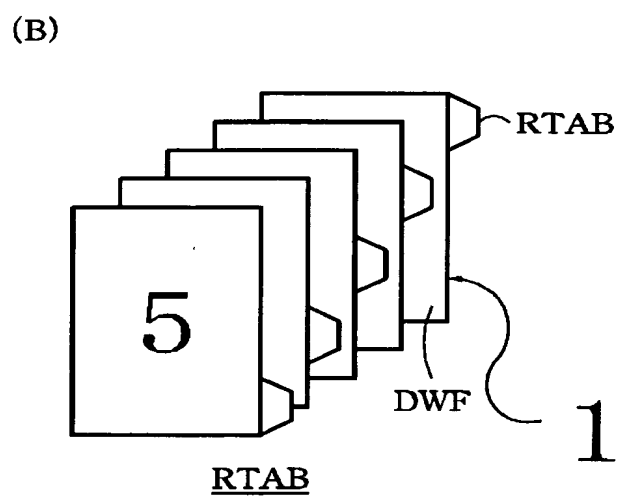
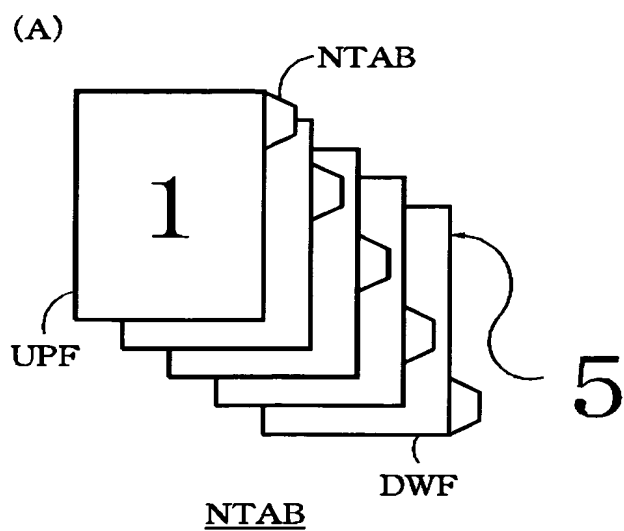
【図 1】



【図2】

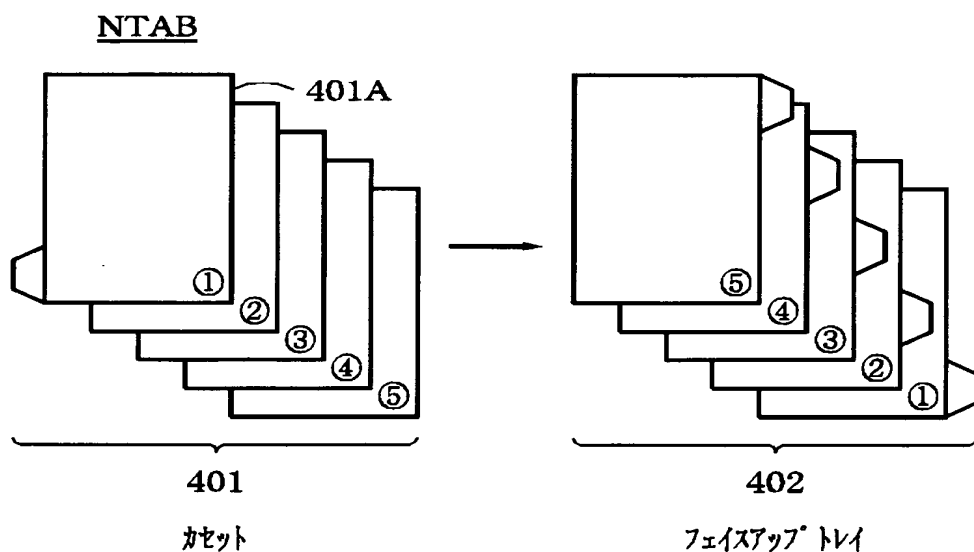
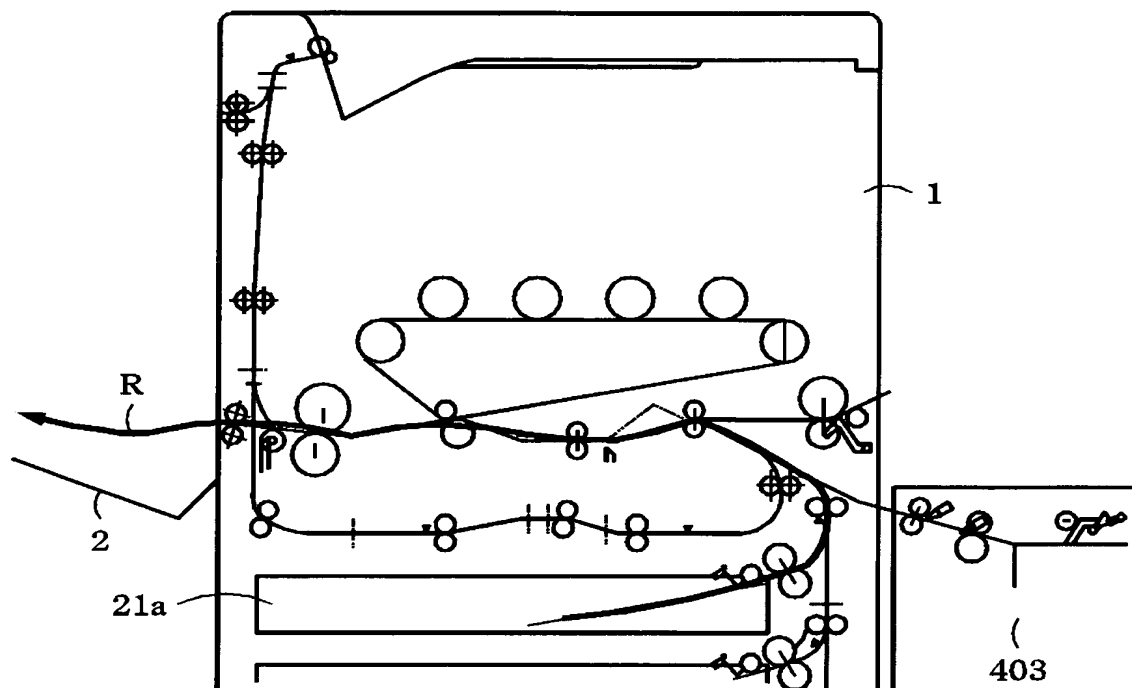


【図 3】



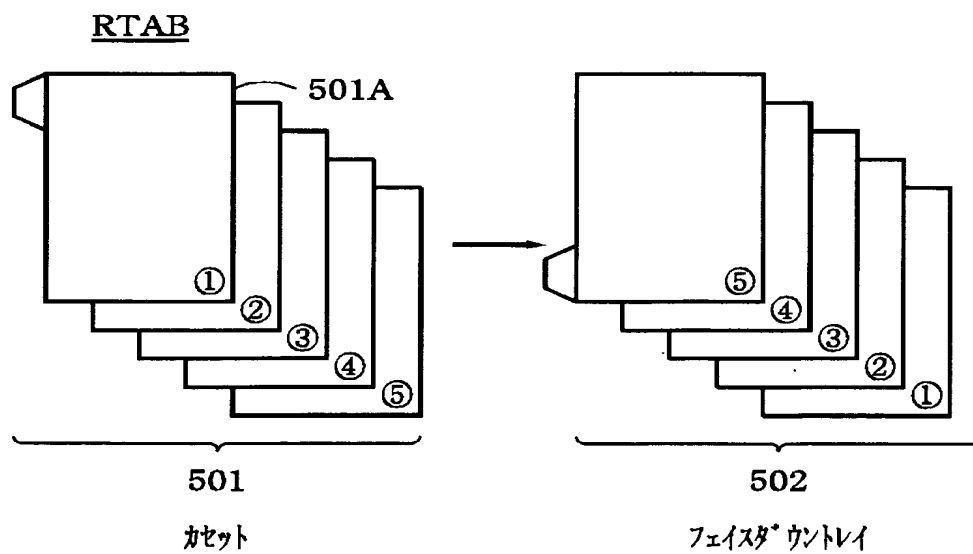
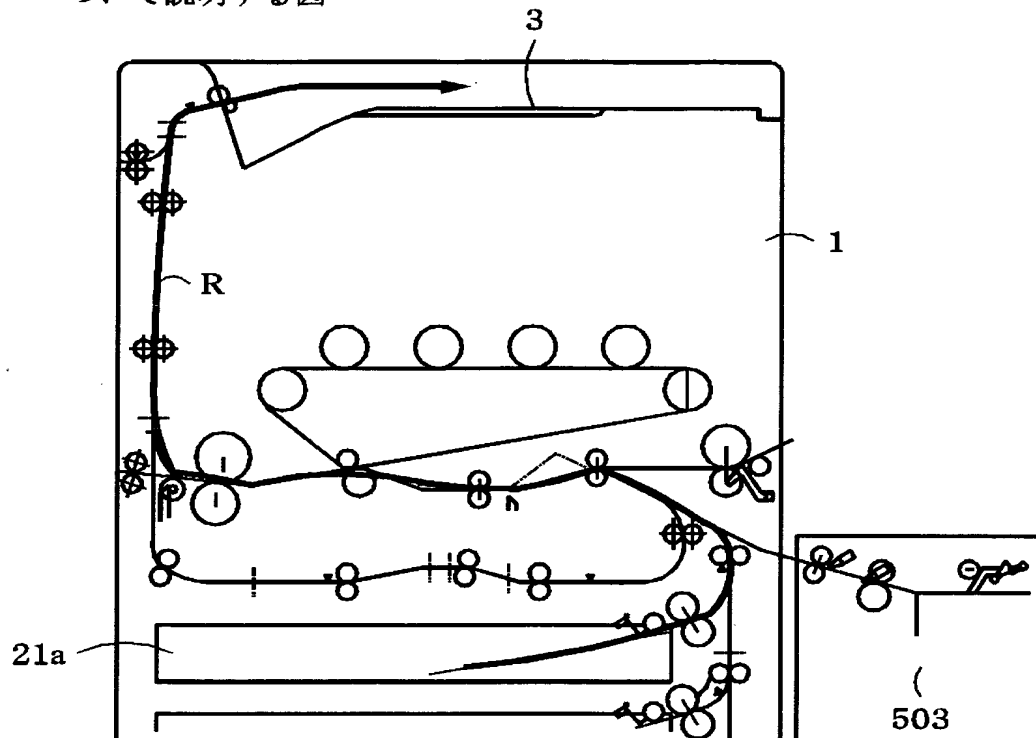
【図4】

カセット21aからフェイスアップトレイ2
へタブ紙束を搬送した場合のページ順序を
説明する図



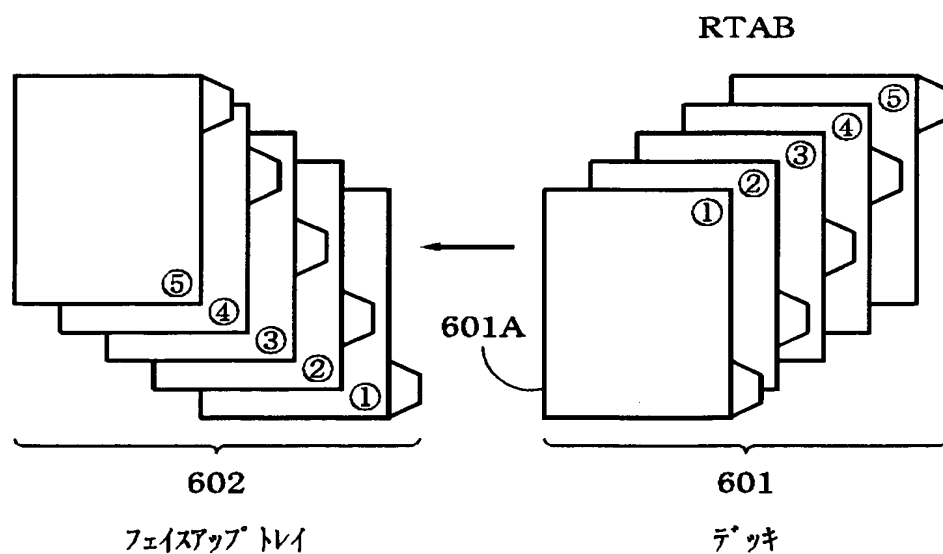
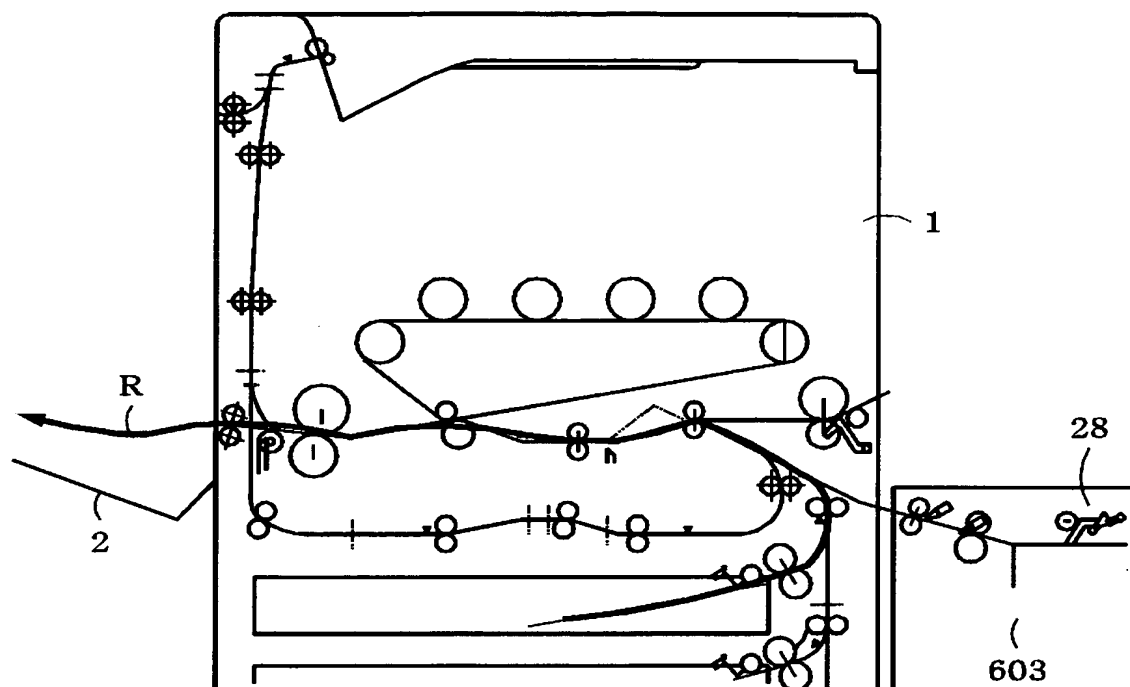
【図5】

カセット21aからフェイスダウントレイ3
へタブ紙束を搬送した場合のページ順序に
ついて説明する図



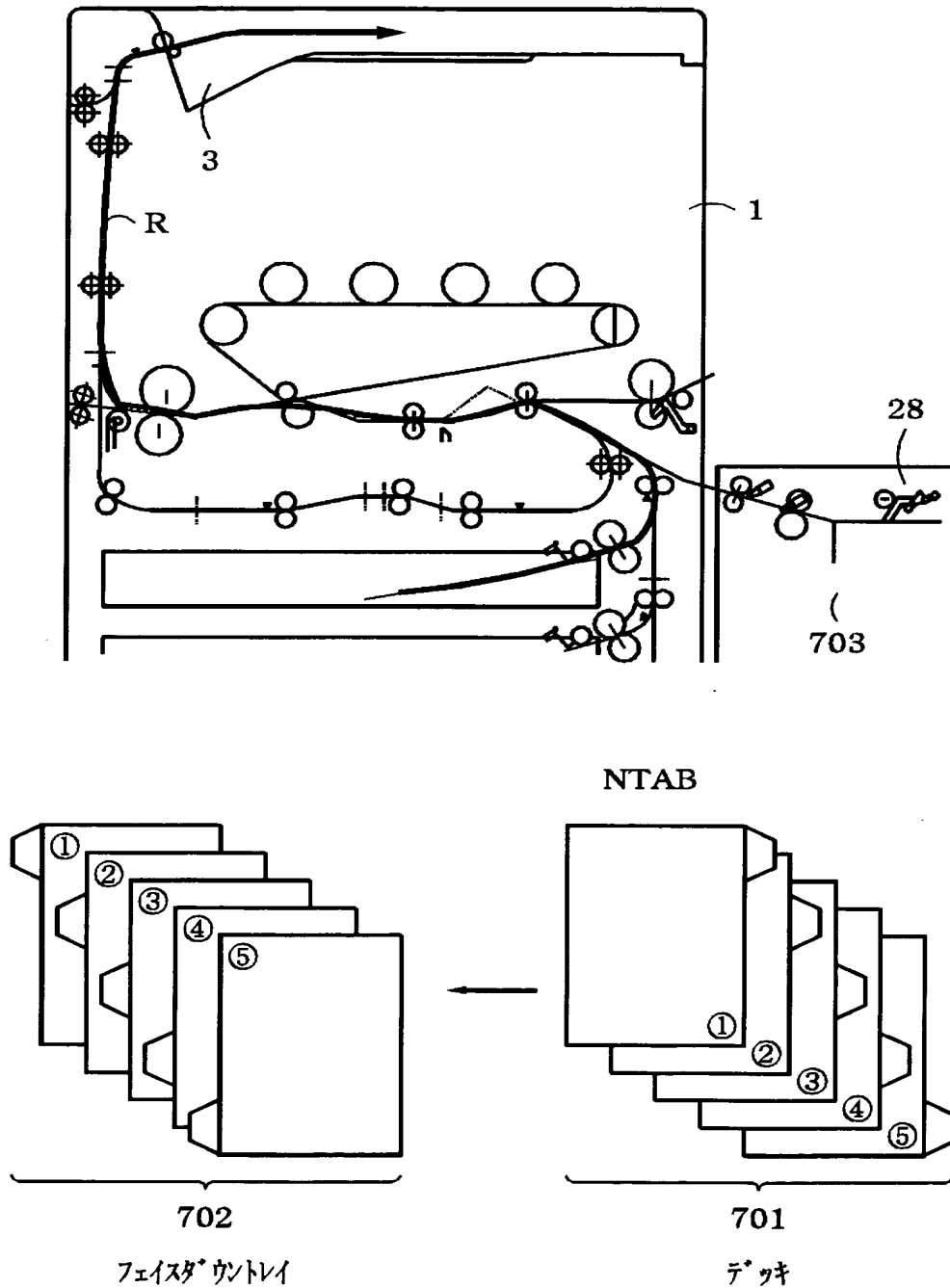
【図6】

デッキ28からフェイスアップトレイ2へ
タブ紙束を搬送した場合のページ順序



【図 7】

デッキ 28 からフェイスダウンドレイ 3 へ
タブ紙束を搬送した場合のページ順序



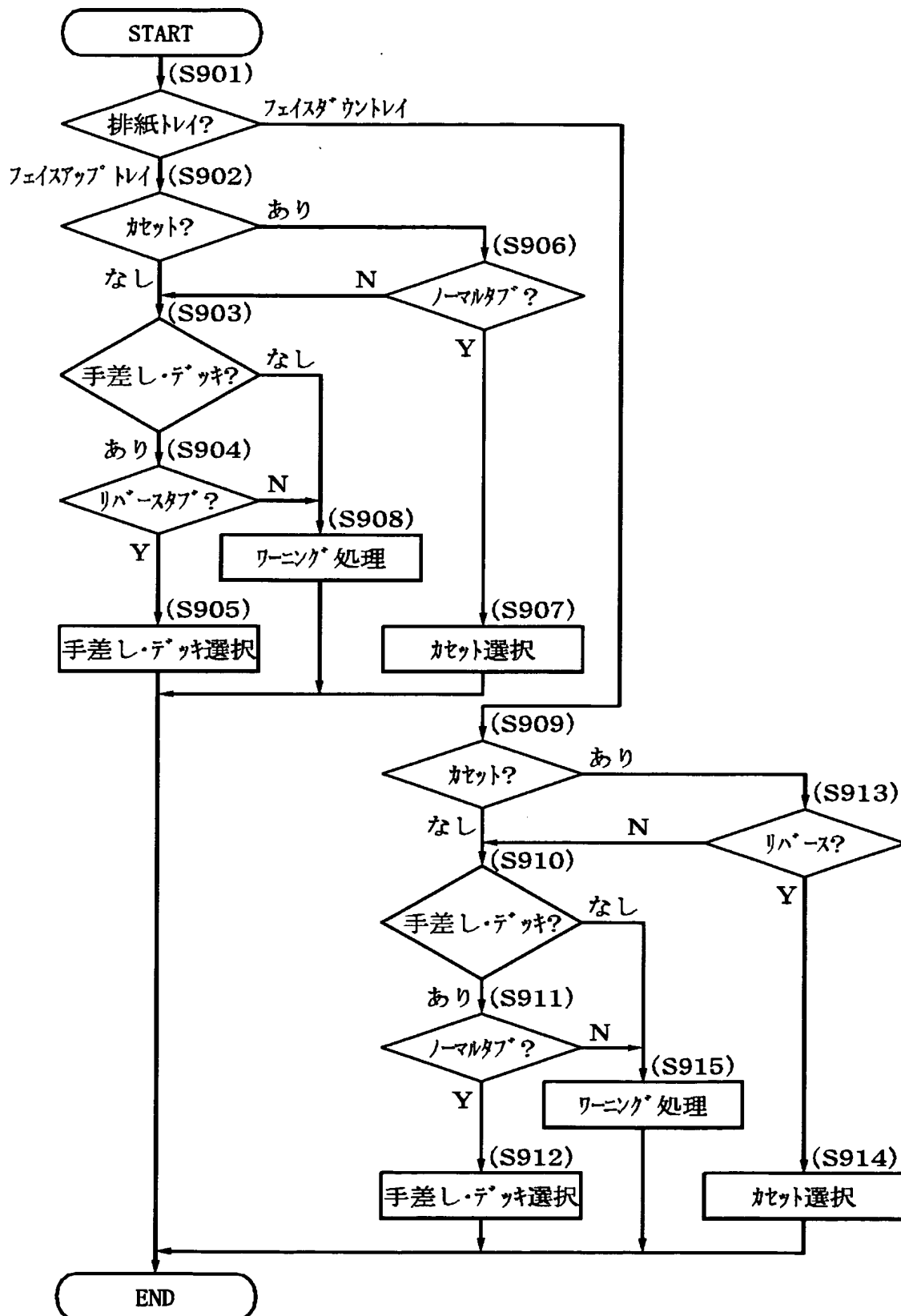
【図 8】

排紙先	フェイスダウン排紙		フェイスアップ排紙	
給紙段	カセット21a	デッキ28	カセット21a	デッキ28
ページ出力順序	先頭ページ から出力	先頭ページ から出力	最終ページ から出力	最終ページ から出力
タブ紙種類	リバースタブ	ノーマルタブ	ノーマルタブ	リバースタブ

【図 9】

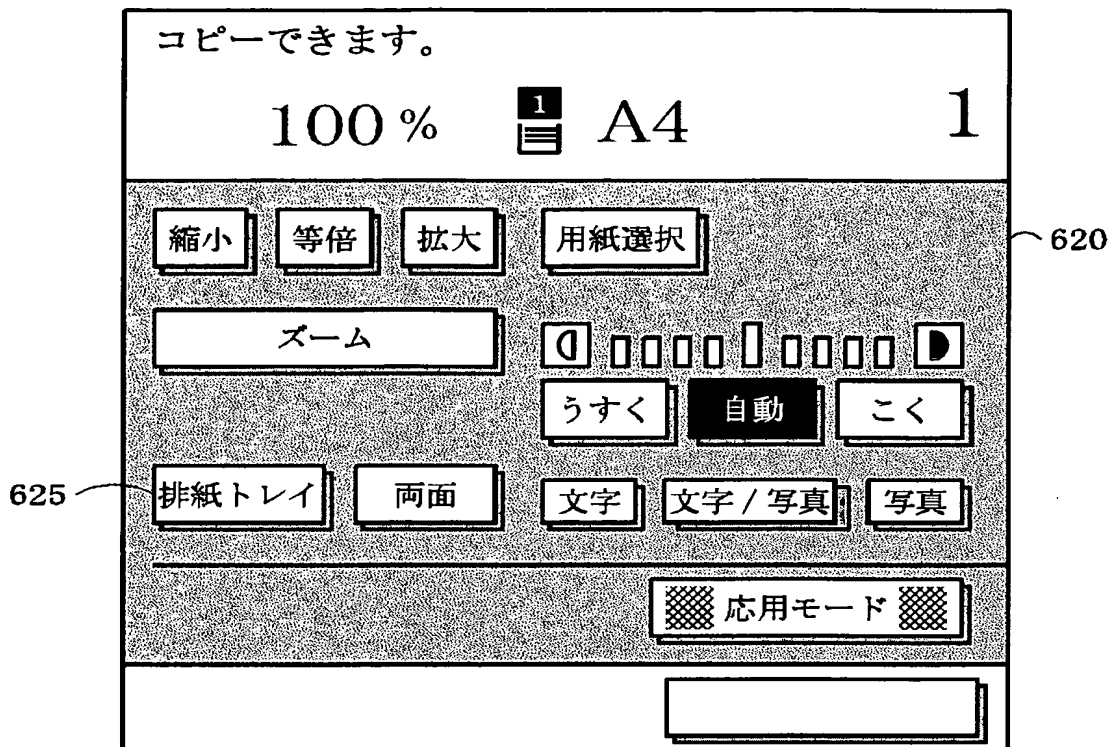
給紙段	マテリアル	ページ順序
カセット 21a	普通紙	—
カセット 21b	普通紙	—
カセット 21c	タブ紙	ノーマルタブ
カセット 21d	タブ紙	リバースタブ
手差しトレイ 27	普通紙	—
デッキ 28	タブ紙	ノーマルタブ

【図 10】

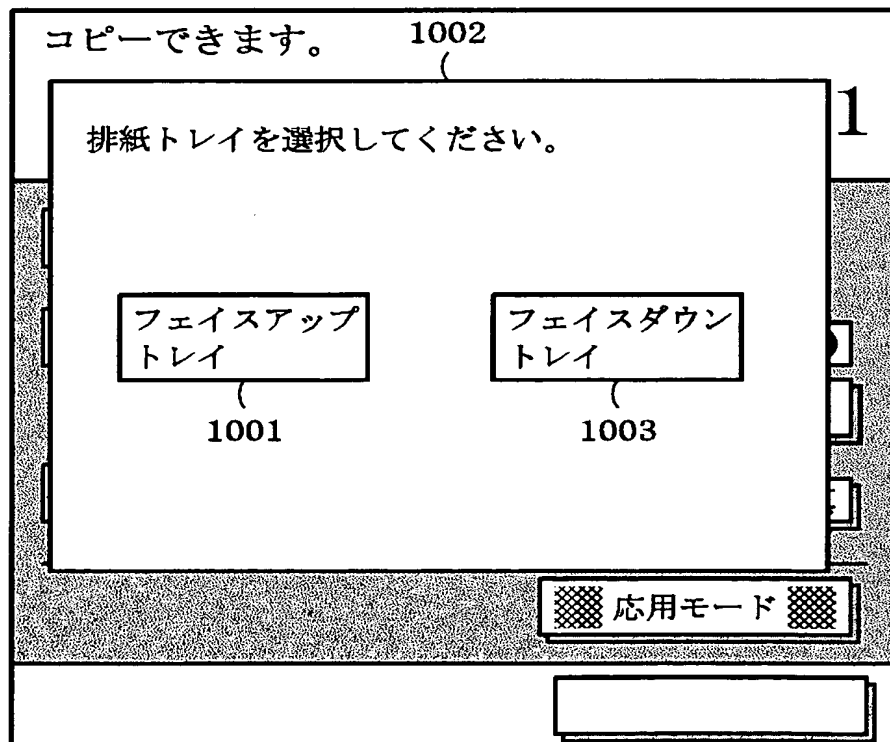


【図 11】

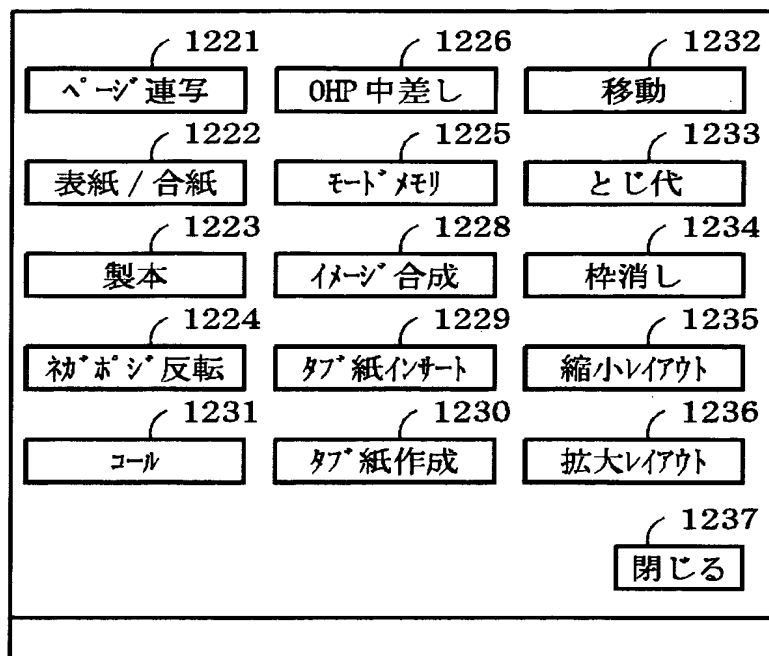
(A)



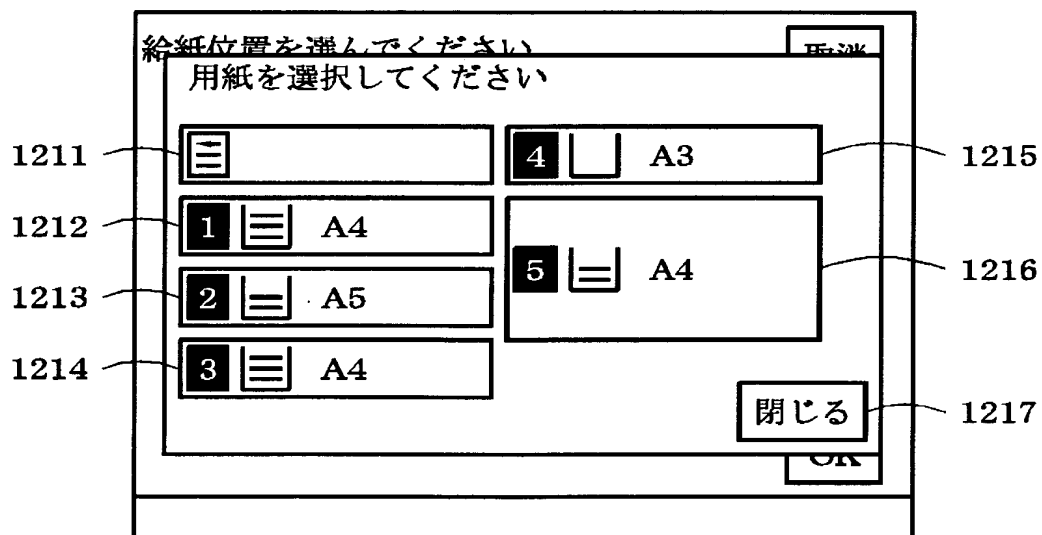
(B)



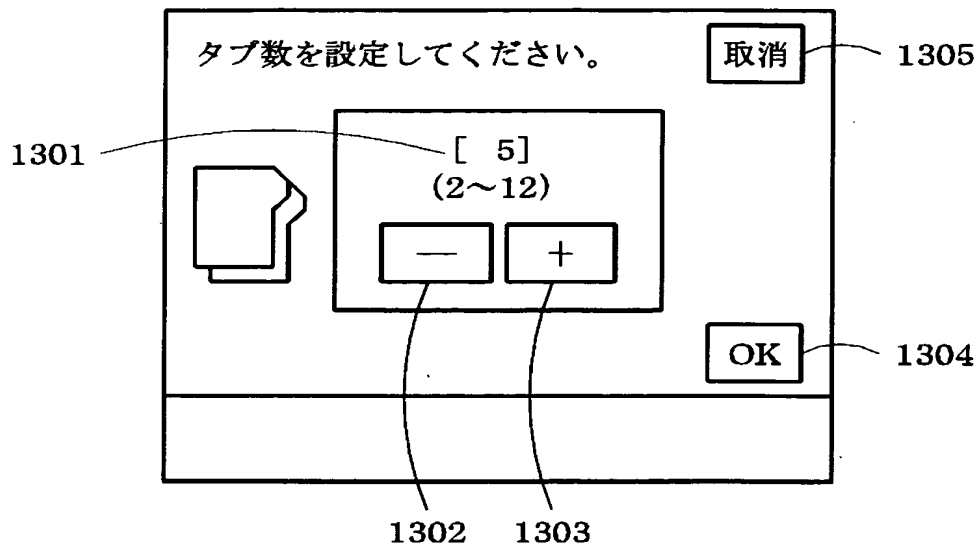
【図 12】



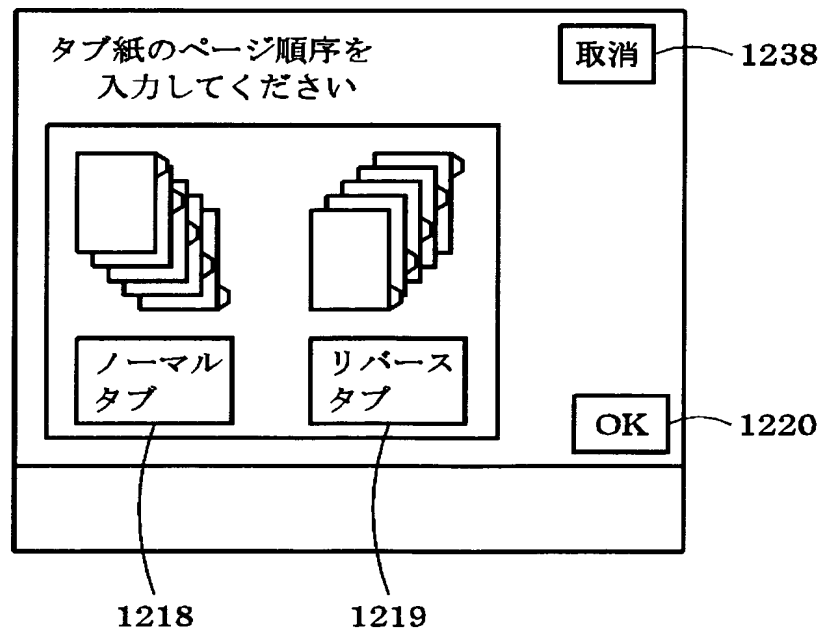
【図 13】



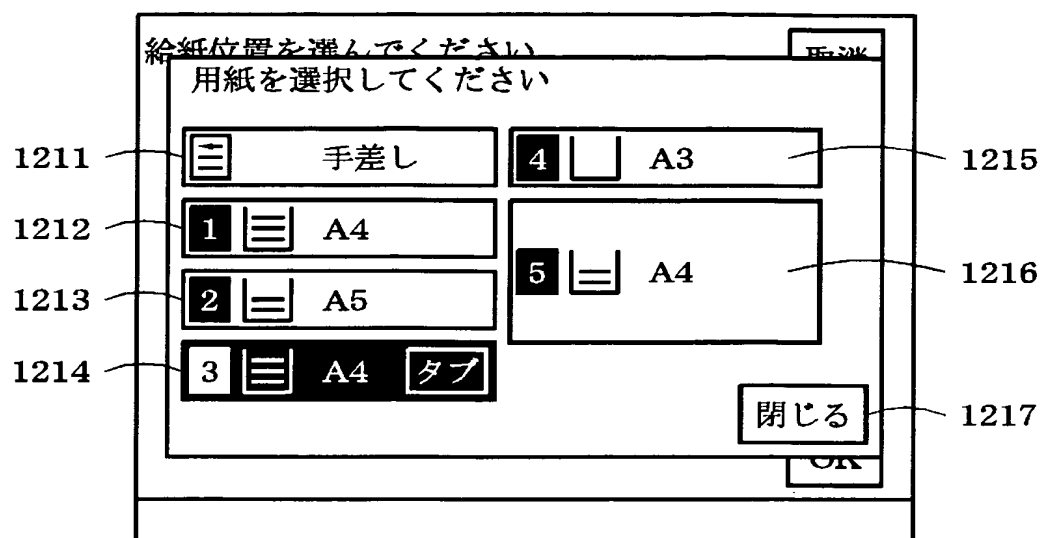
【図 14】



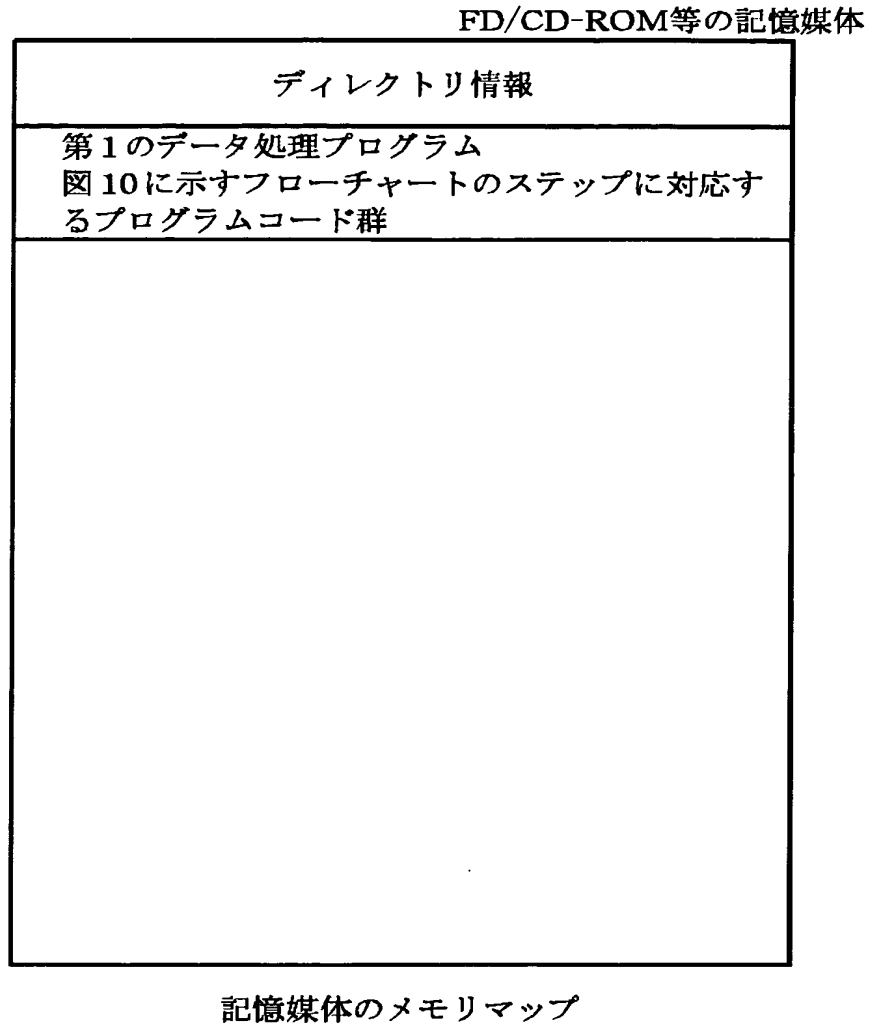
【図 15】



【図 16】



【図 17】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 タブ紙の設定による出力形態について何ら意識することなく、タブ紙給紙と排紙先とを選択するという簡単な操作指示で、出力結果が有効となるタブ紙モード出力結果を得ること。

【解決手段】 カセット 21a～21d 及びデッキ 28，手差しトレイ 27 から給紙可能なタブ紙に対して指定されるページ順序を用紙管理情報として割り付けた用紙管理情報をコントローラ CONT 内の RAM に記憶しておき、タブ紙給紙が選択指示されたら、ユーザによるフェイスアップトレイ 2 またはフェイスダウントレイ 3 の排紙先選択状態及び各給紙段に指定されたページ順序に応じて、有効な画像転写結果が得られるようにタブ紙を給紙可能な前記カセット 21a～21d またはデッキ 28，手差しトレイ 27 をコントローラ CONT 内の CPU が自動選択制御する構成を特徴とする。

【選択図】 図 1

特願 2002-277081

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000001007]

1. 変更年月日

1990年 8月30日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

氏 名

キヤノン株式会社